

MDLP



FH-P510MD

MD / CD / チューナー

・ WMA / MP3 / WAV 対応 ・ DSP メインユニット

取扱説明書

目次 4ページ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



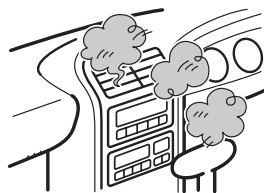
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

はじめに

- | | | |
|---|-----------------|----|
| 1 | 各部のなまえ | 8 |
| 2 | 本機の操作の基本 | 10 |
| 3 | ご使用になる前に | 12 |
| | ● 「CD TEXT」について | |
| | ● バッテリーを交換するときは | 13 |
| 4 | 本機のリセットについて | 14 |
| 5 | 別売リモコンでの操作について | 14 |

ここでは

ここだけ読めばすぐ使えます

- | | | |
|---|---------------------|----|
| 1 | 聞きたいソース (音源) を選ぶ | 16 |
| | ● 電源を切る | |
| 2 | CD のふだんの操作 | 18 |
| | ● CD を再生する | |
| | ● 曲を選ぶ | |
| | ● 早送り/早戻しをする | |
| | ● 音量を調節する | |
| | ● CD を取り出す | |
| 3 | WMA/MP3/WAV のふだんの操作 | 20 |
| | ● CD-ROM を再生する | |
| | ● フォルダーを選ぶ | |
| | ● 曲を選ぶ | |
| | ● 早送り/早戻しをする | |
| | ● 音量を調節する | |
| | ● CD-ROM を取り出す | |
| 4 | MD のふだんの操作 | 22 |
| | ● MD を再生する | |
| | ● グループを選ぶ | |
| | ● 曲を選ぶ | |
| | ● 早送り/早戻しをする | |
| | ● 音量を調節する | |
| | ● MD を取り出す | |
| 5 | ラジオのふだんの操作 | 24 |
| | ● バンドを選ぶ | |
| | ● 放送局を選ぶ | |
| | ● 音量を調節する | |
| 6 | マルチ CD のふだんの操作 | 26 |
| | ● CD を選ぶ | |
| | ● 曲を選ぶ | |
| | ● 早送り/早戻しをする | |
| | ● 音量を調節する | |

内蔵 CD

内蔵 CD で CD を聞く

- | | | |
|---|------------------|----|
| 1 | モードの切り換えかた | 28 |
| 2 | 同じ曲を繰り返し聞く | 29 |
| 3 | いつもと違う曲順で聞く | 29 |
| 4 | 聞きたい曲をさがす | 30 |
| 5 | CD 再生を一時停止する | 31 |
| 6 | CD の音質を調節する | 31 |
| 7 | 選曲方法を切り換える | 32 |
| 8 | 10 曲飛びに選曲する | 32 |
| 9 | CD のタイトルなどを表示させる | 33 |

WMA/
MP3/WAV

WMA/MP3/WAV を聞く

- | | | |
|---|-----------------------|----|
| 1 | モードの切り換えかた | 34 |
| 2 | 同じ曲やフォルダーを繰り返し聞く | 34 |
| 3 | いつもと違う曲順で聞く | 35 |
| 4 | 聞きたい曲やフォルダーをさがす | 36 |
| 5 | WMA/MP3/WAV 再生を一時停止する | 37 |
| 6 | WMA/MP3/WAV の音質を調節する | 38 |
| 7 | 選曲方法を切り換える | 39 |
| 8 | フォルダー内の曲を | |
| | 10 曲飛びに選曲する | 39 |
| 9 | WMA/MP3/WAV の | |
| | タイトルなどを表示させる | 40 |

C O N T E N T S

内蔵MD 内蔵MDでMDを聞く

- 1 モードの切り換えかた 42
- 2 同じ曲やグループを繰り返し聞く 42
- 3 いつもと違う曲順で聞く 43
- 4 聞きたい曲やグループをさがす 44
- 5 MD再生を一時停止する 45
- 6 MDのタイトルなどを表示させる 46

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

ここだけ読めば
すぐ使えます

ラジオ ラジオを聞く

- 1 放送局を1局ずつ記憶させる 48
- 2 記憶させた放送局を呼び出す 49
- 3 モードの切り換えかた 50
- 4 複数の放送局を自動的に記憶させる 51
- 5 放送局名を選ぶ 52
- 6 放送局名などを表示させる 53

- はじめに ●●●●●●●●●●
- 内蔵CDでCDを聞く ●●●●
- WMA/MP3/WAVを聞く ●●●●
- 内蔵MDでMDを聞く ●●●●
- ラジオを聞く ●●●●●●●●●●
- マルチCDでCDを聞く ●●●●
- 音を調節する ●●●●●●●●●●
- 音場と音質を調節する ●●●●●●●●
- 便利な機能と初期設定 ●●●●●●●●
- その他 (付録) ●●●●●●●●●●

マルチCD

マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- | | | |
|----|------------------------------|----|
| 1 | 聞きたいCDを直接選ぶ | 54 |
| 2 | モードの切り換えかた | 55 |
| 3 | 同じ曲やCDを繰り返し聞く | 56 |
| 4 | 聞きたい曲やCDをさがす | 57 |
| 5 | いつもと違う曲順で聞く | 58 |
| 6 | 聞きたい曲だけ指定しておく | 59 |
| 7 | 指定した曲だけ再生する | 60 |
| 8 | 曲の指定を1曲ずつ解除する | 61 |
| 9 | 曲の指定をCDごとに解除する | 61 |
| 10 | CDのタイトルを記憶させる | 62 |
| 11 | CDの音質を調節する | 64 |
| 12 | CD再生を一時停止する | 65 |
| 13 | タイトルを見て
聞きたいCDをさがす | 65 |
| 14 | CDのタイトルなどを表示させる | 66 |
| 15 | 「CD TEXT」のタイトルや
歌手名を表示させる | 66 |

音の調節

音を調節する

- | | | |
|---|--------------------------|----|
| 1 | オーディオ調節モードの切り換えかた | 68 |
| 2 | 前後左右の音量バランスを調節する | 70 |
| 3 | 小音量時の音にメリハリをつける | 71 |
| 4 | サブウーファーを使う | 72 |
| 5 | 低い音をスピーカーから
出力させない | 74 |
| 6 | 外部アンプなどで
サブウーファーを調節する | 76 |
| 7 | 各ソースの音量をそろえる | 77 |

DSP調節

音場と音質を調節する

- | | | |
|---|--------------------|----|
| 1 | DSP調節モードの切り換えかた | 78 |
| 2 | 音楽に合った音質を設定する | 79 |
| 3 | イコライザーカーブを大まかに補正する | 79 |
| 4 | イコライザーカーブを細かく調節する | 80 |
| 5 | 音場の中心で聞く | 82 |
| 6 | イメージに合った演奏会場を再現する | 83 |

C O N T E N T S

便利な機能

便利な機能と初期設定

1	瞬時に音量を小さくする	84
2	時計を表示させる	84
3	交通情報を受信する	85
4	よく使う機能を直接操作する	85
5	初期設定モードの切り換えかた	86
6	時計を合わせる	87
7	外部機器の音声を聞く	88
8	外部機器の名称を入力する	89
9	夜間のディスプレイの 明るさを切り換える	89
10	ディスプレイの明暗を切り換える	90
11	RCA 外部出力から 出力される信号を選ぶ	91
12	音の歪みを補正する	91
13	ミュート/アッテネートを切り換える	92
14	CD タイトルなどのスクロールの しかたを切り換える	93
15	エンタテインメント表示を 切り換える	93

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

ここだけ読めば
すぐ使えます

はじめに ●●●●●●●●●●●●●●●●

内蔵 CD で CD を聞く ●●●●●●●●●●●●●●●●

WMA/MP3/WAV を聞く ●●●●●●●●●●●●●●●●

内蔵 MD で MD を聞く ●●●●●●●●●●●●●●●●

ラジオを聞く ●●●●●●●●●●●●●●●●

マルチ CD で CD を聞く ●●●●●●●●●●●●●●●●

音を調節する ●●●●●●●●●●●●●●●●

音場と音質を調節する ●●●●●●●●●●●●●●●●

便利な機能と初期設定 ●●●●●●●●●●●●●●●●

その他 (付録) ●●●●●●●●●●●●●●●●

その他

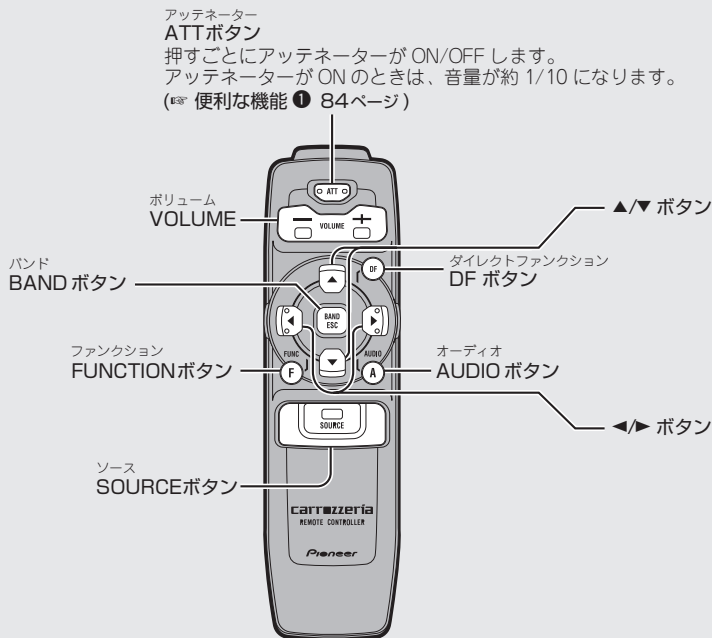
その他 (付録)

1	CD の正しい使いかた	94
2	WMA/MP3/WAV ファイルについて	96
3	MD の正しい使いかた	99
4	故障かな?と思ったら	100
5	こんなメッセージが表示されたら	102
6	保証書とアフターサービス	104
7	用語解説	106
8	おもな仕様	108
9	メモ	110

別売のリモコン「CD-R660」について

本体と同じなまえのボタンは、本体のボタンと同じ働きをします。DFボタン、ATTボタンでの操作は、リモコンだけで行うことができます。また、一部のボタンは本体と操作方法が異なります。(※はじめに⑤ 14ページ)

- 別売のリモコン「CD-R660」で、本機を操作することができます。
- リモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。



メモ

- 別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR100」(以下、ステアリングリモコン)で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部リモコンでは操作できない機能があります。
- ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

DF ボタンについて

DF ボタンを押すと、ソースごとにあらかじめ記憶されている機能を直接操作することができます。内蔵 CD・MP3/WMA/WAV・内蔵 MD・マルチ CD でポーズ、ラジオで BSM、テレビで BSSM を操作することができます。(※ 便利な機能 ④ 85ページ)

本機の操作の基本

本機を操作するときに、よく使うボタンなどについての説明です。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ボタンおよびBANDボタンで操作します。

聞いているソース 操 作	CD、WMA/MP3/WAV、MDを 聞いているとき	ラジオ、テレビを聞いているとき
◀または▶ボタン	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局
▲または▼ボタン	再生するフォルダーの切り換え (WMA/MP3/WAV) 再生するディスクの切り換え (マルチCD) グループの切り換え (MD)	記憶させた放送局の切り換え
BANDボタン	音楽データとMP3/WMA/WAVファイ ルの切り換え (WMA/MP3/WAV) (<small>▶▶</small> ここだけで② 21ページ) ROOTフォルダーの選択 (2秒以上押す) (WMA/MP3/WAV)	バンド (FM/AM) の切り換え TV1とTV2の切り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。
オペレーションモードには5つのモードがあり、次の手順で操作します。

手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ 調節モード	DSP調節 モード
1 それぞれの モードにする		FUNCTION ボタンを 押す。	FUNCTION ボタンを 2秒以上 押す。	電源OFFの ときに FUNCTION ボタンを2 秒以上押す。	AUDIO ボタンを 押す。	DSPボタンを 押す。
2 機能を切り換える		FUNCTIONボタンを押す。		AUDIOボタン を押す。	DSPボタンを 押す。	
3 機能をON/OFFする または 項目を選ぶ		▲または▼ボタンを押す。		▲/▼/◀/▶ ボタンを押す。 (選択または調節)		
		◀または▶ボタンを押す。				
4 それぞれの モードを解除する		BANDボタンを押す。				

それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード : CDのリPEAT再生 (E3 内蔵CD② 29ページ) やマルチCDのスキャン再生 (E3 マルチCD④ 57ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を操作できます。
- 詳細設定モード : CDのタイトル入力 (E3 マルチCD⑩ 62ページ) やラジオの放送局名選択 (E3 ラジオ⑤ 52ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード : 外部機器 (E3 便利な機能⑦ 88ページ) やディマ (E3 便利な機能⑨ 89ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード : フェーダー/バランス (E3 音の調節② 70ページ) など、音に関する調節ができます。
- DSP調節モード : グラフィックイコライザー (E3 DSP調節③ 79ページ) などの音場と音質に関する調節ができます。

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作できるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



FUNCTION、AUDIO、DSP、セレクトターの中で、操作可能なボタンが表示されます。

表示の例	内容
	▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。
	◀または▶ ボタンで項目を選ぶことができます。また、FUNCTION ボタンで機能を切り換えることができます。
	▲または▼ ボタンで機能のON/OFFができます。また、AUDIO ボタンで機能を切り換えることができます。
	▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。また、DSP ボタンで機能を切り換えることができます。

本機の特長

本機は、音楽CD、WMA/MP3/WAVの再生に対応しています。

CD再生

音楽用のCD/CD-R/CD-RWを再生することができます。

WMA/MP3/WAV再生

WMA/MP3/WAVファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録されたディスクが再生可能です。（【註】その他⑦ 106ページ）

WMAについて



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

メモ

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたWindows Media Playerのバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ<http://www.mp3licensing.com>をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークの付いているCDは、「CD TEXT」です。（下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。）



● バッテリーを交換するときは

50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。また、タイトルリストモードには切り換わりません。

長時間録音されたMDの再生について

本機は、MDLPに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。

MDLPについて

MDLPとは、今までお使いになっているMDで、従来の録音できる時間より長く（2倍、4倍の時間）録音することができる圧縮方式です。

MDグループディスク再生について

本機は、MDグループ機能の再生に対応しています。MDに収録されている曲をグループとして登録したディスク（グループディスク）を再生している場合、グループ名を表示したり、お好みのグループだけを再生したりすることができます。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のエンジンスイッチをON（またはACC）にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

バッテリーを交換するときは

車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。

本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調整などの設定内容は消去されてしまいます。この場合、ラジオのプリセットメモリーは48ページ、時計調整は87ページを参照して、設定しなおしてください。

オーディオ調整については、再設定に時間がかかるため、設定内容をメモしておくことをおすすめします。再設定の方法は、それぞれのページを参照してください。

デモモードについて

デモモードは、本機が電源OFFのときに、各ソースや本機の機能を表示して紹介する機能です。

デモモードを解除したいときは、デモンストレーションが表示されているときに6ボタンを押してください。もう一度押すと、デモモードがONになります。

車のエンジンを止めた状態で、デモンストレーションを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

メモ

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常に車のバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、デモンストレーションが表示され、バッテリー上がりの原因になります。

はじめに

4

本機のリセットについて

リセット

本機を初期状態に戻すことができます。

リセットボタンについて

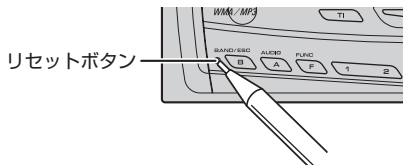
リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

- 接続が終わった後
- 本機が正しく動作しないとき
- ディスプレイが正しく表示されないとき

リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



はじめに

5

別売リモコンでの操作について

本書では、本体のボタンを例に操作を説明しています。本機は、本体のボタンと別売リモコンのどちらでも同様に操作できます。ただし、本体のボリュームと別売リモコンのVOLUMEボタンでは操作方法が異なります。別売リモコンで操作する場合は、次の表を参照して操作してください。

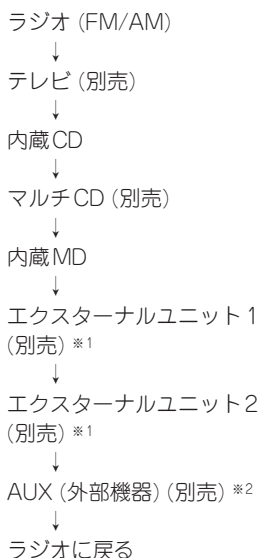
本体のボリューム	リモコンのVOLUMEボタン
右に回す	+を押す
左に回す	-を押す

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

SOURCE ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



2 電源を切る

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す

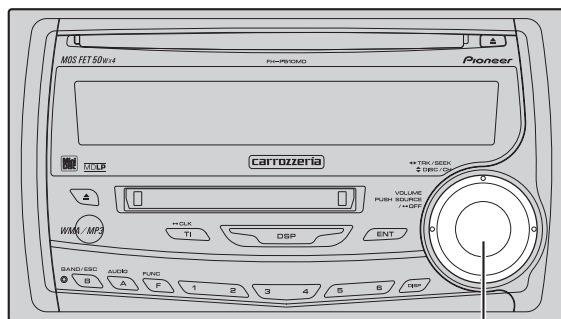
本機の電源が切れます。

メモ

- 接続していないソースには切り換わりません。
- CD や MD がセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- 本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオートアンテナのコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。

※1 エクスターナルユニットとは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品 (将来発売される製品など) の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2 台のエクスターナルユニットをコントロールすることができます。2 台のエクスターナルユニットを接続した場合、本機によって、エクスターナル 1、エクスターナル 2 が自動的に設定されます。

※2 AUX (外部機器) の設定 (☞ 便利な機能 7 88 ページ) を ON にしないと、AUX には切り換わりません。

ソース
SOURCEボタン

テレビを接続したときは

操作のしかたは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

組み合わせ例

ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P7」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作を説明している場合があります。その製品と対応しているボタンで操作してください。

マルチMDを接続したときは

本機は、マルチMD (例 :「MD-P100II」) をエクスターナルユニットとして操作することができます。操作のしかたは、マルチMDの取扱説明書の「メインユニット③」を参照してください。

ここだけで

2

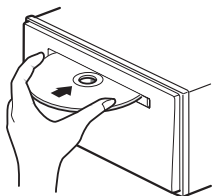
CDのふだんの操作

● CDを再生する ● 曲を選ぶ

ここだけの操作で、内蔵のCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 CDを再生する

タイトル面を上にして、CD挿入口に差し込む



CDの再生が始まります。

ご注意

CDシングル(8cm CD)もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき(または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき(または早戻し)



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し※1	0.5秒以上押し 続けている間

※1 選曲方法をラフサーチに設定した場合は、10曲飛びに選曲します。

(☞ 内蔵CD⑦ 32ページ)

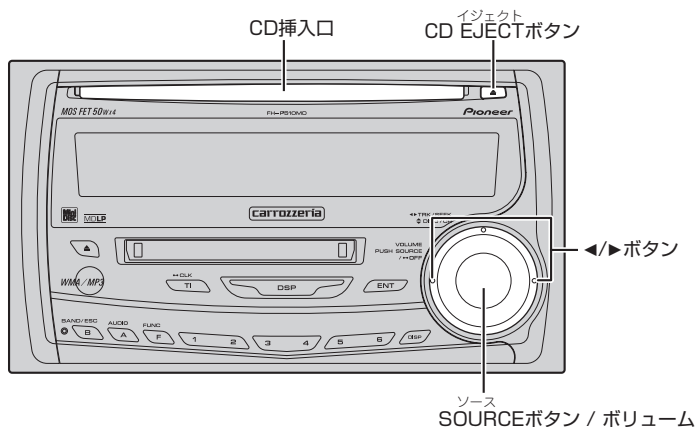
メモ

- CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやMDなど)に切り換えることもできます。(☞ ここだけで① 16ページ)
- CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。
- ディスクを挿入すると、ファイル形式を読みとる間、“FRMTREAD”と表示されます。

● 早送り/早戻しをする ● 音量を調節する ● CDを取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

ボリュームを右または左に回す

右に回す：大きくするとき

左に回す：小さくするとき



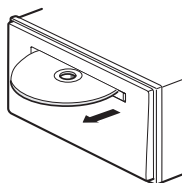
音量は0～40の範囲で調節できます。

● 約4秒間、音量が表示されます。

4 CDを取り出して CD再生をやめる

CD EJECT ボタンを押す

CDが出てきて、電源がOFFになります。



● 出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけで

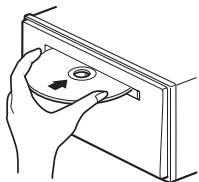
3

WMA/MP3/WAVのふだんの操作 ● CD-ROMを再生する

ここだけの操作で、内蔵のCDプレーヤーでWMA/MP3/WAVファイルを聞くことができます。再生できるWMA/MP3/WAVファイルについては (E3※ その他② 96ページ)

1 CD-ROMを再生する

タイトル面を上にして、CD挿入口に差し込む

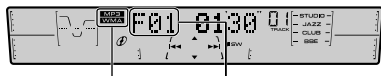


CD-ROMの再生が始まります。

2 聞きたいフォルダーを選ぶ

▲または▼ボタンを押す

- ▲ : 次のフォルダーを選ぶとき
- ▼ : 前のフォルダーを選ぶとき



MP3 / WMA フォルダー番号
インジケーター

- BAND ボタンを2秒以上押すと、フォルダー01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し *1	0.5秒以上押し 続けている間

- WMA/MP3/WAVファイルを早送り/早戻ししているときは、音声は出力されません。

*1 選曲方法をラフサーチに設定した場合は、10曲並びに選曲します。
(E3※ WMA/MP3/WAV⑦ 39ページ)

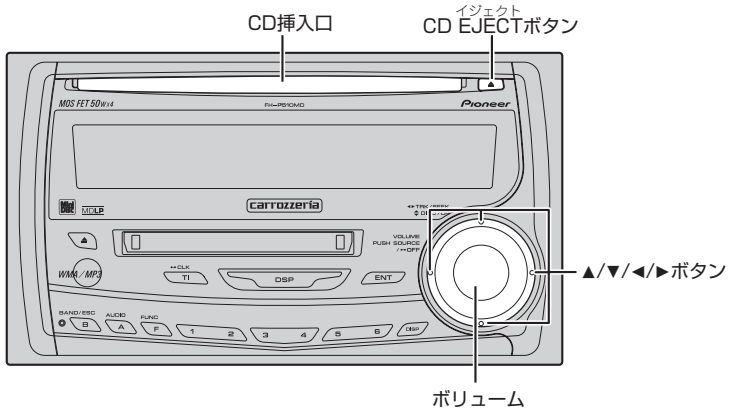
メモ

- CD-ROMをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース (ラジオやMDなど) に切り換えることもできます。(E3※ ここだけで① 16ページ)
- CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。
- ディスクを挿入すると、ファイル形式を読みとる間、“FRMTREAD”が表示されます。
- VBR (可変ビットレート) で録音されたファイルを早送り/早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

- フォルダーを選ぶ ● 曲を選ぶ ● 早送り/早戻しをする ● 音量を調節する ● CD-ROMを取り出す

フォルダーサーチ / トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



4 音量を調節する

ボリュームを右または左に回す

右に回す：大きくするとき
左に回す：小さくするとき



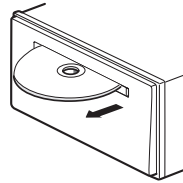
音量は0～40の範囲で調節できます。

- 約4秒間、音量が表示されます。

5 CD-ROMを取り出して CD-ROM再生をやめる

CD EJECT ボタンを押す

CD-ROMが出てきて、電源がOFFになります。



- 出てきたCD-ROMはすぐに取り出して、保管してください。

音楽データの切り換えについて

WMA/MP3/WAV ファイルと、音楽データが混在しているディスクの場合、BAND ボタンを押して、WMA/MP3/WAV ファイルと音楽データを切り換えて再生することができます。WMA/MP3/WAV ファイルと音楽データを切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。このとき、音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。

ここだけで

4

MDのふだんの操作

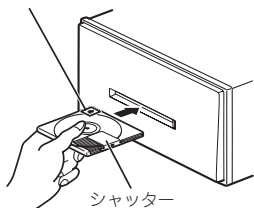
● MDを再生する ● グループを選ぶ

ここだけの操作で、内蔵のMDプレーヤーでMDを聞くことができます。

1 MDを再生する

ラベル面を上にして、MD挿入口に差し込む

矢印の向きに差し込みます。



MDのラベル面を上にして差し込みます。

確認

MDのシャッターが閉まっていることを確認してから差し込んでください。



MDの再生が始まります。

2 聞きたいグループを選ぶ (グループディスクの場合)

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次のグループを選ぶとき

▼ : 前のグループを選ぶとき

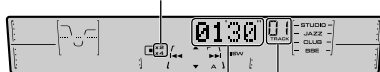
3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)

長時間再生表示



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

● 2倍長時間録音のMD再生時は“×2”が、4倍長時間録音のMD再生時は“×4”が表示されます。

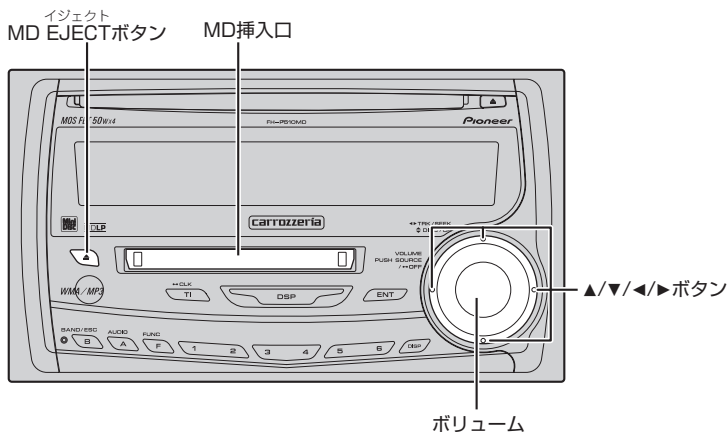
メモ

- MDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやCDなど)に切り換えることもできます。(ここだけで① 16ページ)
- MD挿入口には、MD以外のものを絶対に入れてください。故障の原因となります。

- 曲を選ぶ
- 早送り/早戻しをする
- 音量を調節する
- MDを取り出す

グループサーチ / トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



4 音量を調節する

ボリュームを右または左に回す

右に回す：大きくするとき

左に回す：小さくするとき



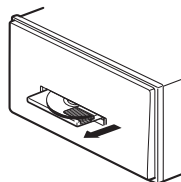
音量は0～40の範囲で調節できます。

- 約4秒間、音量が表示されます。

5 MDを取り出して MD再生をやめる

MD EJECT ボタンを押す

MDが出てきて、電源がOFFになります。



- 出てきたMDはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけで

5

ラジオのふだんの操作

● バンドを選ぶ

● 放送局を選ぶ

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースをラジオにする

SOURCE ボタンを押して選ぶ

ラジオを受信します。

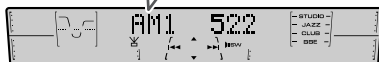
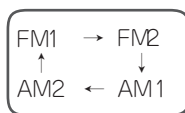


ステレオ放送を受信すると表示されます。

2 バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

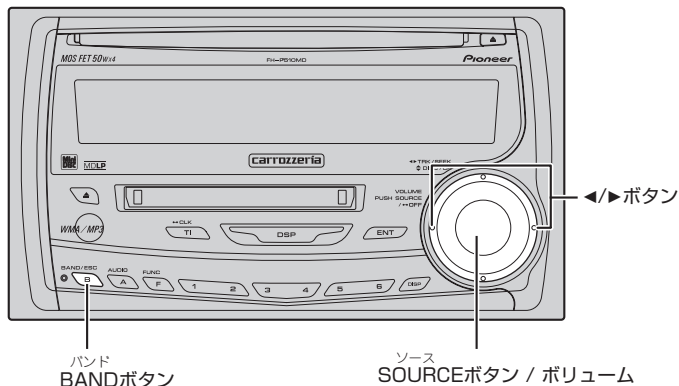
BAND ボタンを押すごとに、次のようにバンド (FM、AM) が切り換わります。



- バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(※ ラジオ①4 48、51 ページ)
- バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのかわからない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと便利です。バンド1に記憶させた放送局を消さずに済みます。

● 音量を調節する

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 放送局を選局する

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

- 0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。
- 電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 音量を調節する

ボリュームを右または左に回す

- 右に回す : 大きくするとき
- 左に回す : 小さくするとき



音量は0~40の範囲で調節できます。

- 約4秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする (☞ ここだけで① 16ページ)

ここだけの操作で、別売のマルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

SOURCE ボタンを押して選ぶ
マルチCDの再生が始まります。

2 聞きたいCDを選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次のCDを選ぶとき

▼：前のCDを選ぶとき



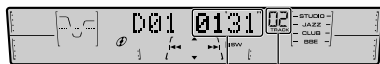
CD番号

3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ボタンを押す

▶：次の曲を選ぶとき(または早送り)

◀：前の曲を選ぶとき(または早戻し)



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

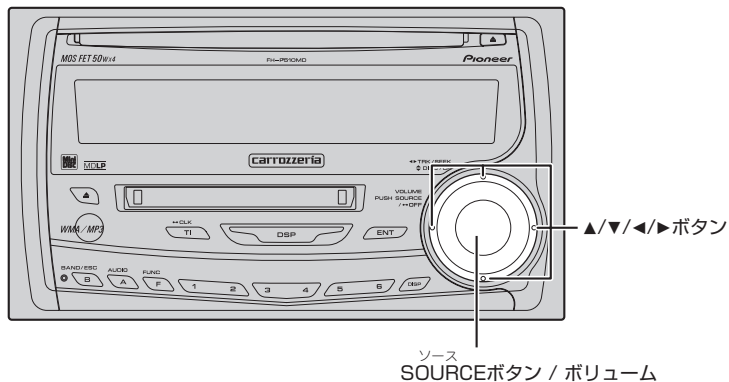
メモ

- マルチCDが準備動作(CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど)をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“Ready”が表示されます。
- マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“No MAG”が表示されます。

● 早送り/早戻しをする ● 音量を調節する

ディスクサーチ / トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



4 音量を調節する

ボリュームを右または左に回す

右に回す：大きくするとき

左に回す：小さくするとき

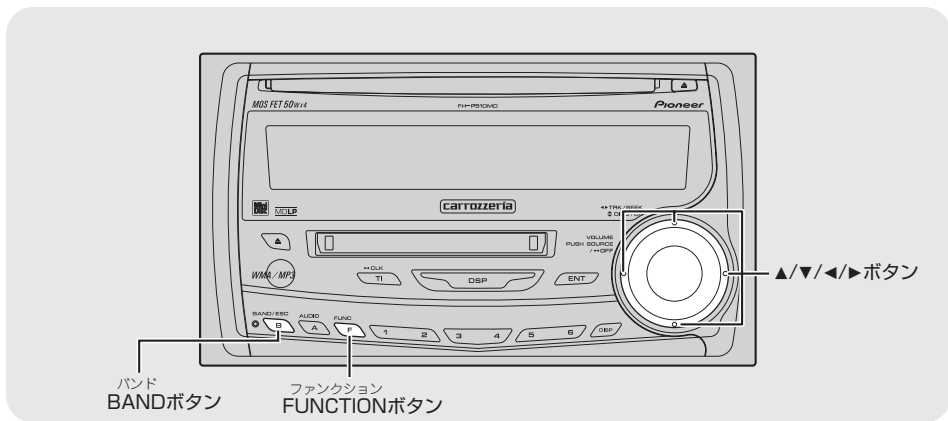


音量は0～40の範囲で調節できます。

●約4秒間、音量が表示されます。

5 マルチCD再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (☞ ここだけで① 16ページ)



内蔵CD
1

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード

(内蔵CD②)



ランダムモード

(内蔵CD③)



スキャンモード

(内蔵CD④ 30ページ)



ポーズモード

(内蔵CD⑤ 31ページ)



COMP切り換えモード

(内蔵CD⑥ 31ページ)



選曲方法切り換えモード

(内蔵CD⑦ 32ページ)



リピートモードに戻る

メモ

- ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

タイトル入力モードになります。

(内蔵CD⑨ 33ページ)

メモ

- 詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。
- 「CD TEXT」を再生しているときは、詳細設定モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらがじめ収録されているタイトルは変更できません。)

内蔵CD

2

同じ曲を 繰り返し聞く

トラックリピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞き聞かせることができます。

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
( 内蔵CD①)



2 リピート再生をTRKにする

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、DSC (ディスクリピート) と TRK (トラックリピート) が切り換わります。



今聞いている曲を繰り返し再生します。



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピート再生中に表示されます。

内蔵CD


3

いつもと違う曲順で 聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 ランダムモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
( 内蔵CD①)



2 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



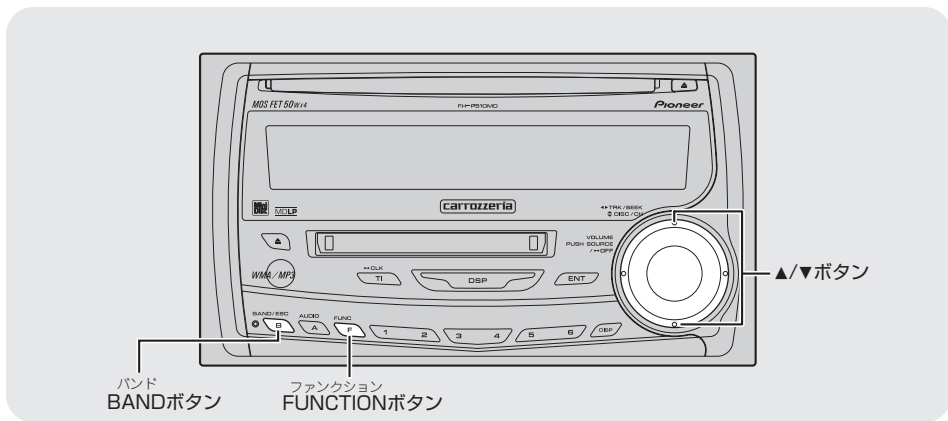
次の曲から、ランダムに選曲します。



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。



内蔵CD 4 聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

1 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(内蔵CD① 28ページ)



3 聞きたい曲が再生されたら スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、まず手順1の操作でもう一度スキャンモードにしてください。次に、スキャン再生をOFFにします。

2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が徐々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(内蔵CD 28ページ)



2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

CDの音質を調節する

COMP/BMX

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、残響音を補正することができます。

COMPについて

COMPは、「COMPreSSion(コンプレッション)」の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

BMXについて

BMXは、「Bit MetriX」の略です。音楽の残響音を補正し、自然な広がりを持った音質に改善する機能です。WMA/MP3などの残響音の成分を補い、本来の音質を再現することができます。

1 COMP切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(内蔵CD 28ページ)



2 機能を選ぶ

▲ または▼ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

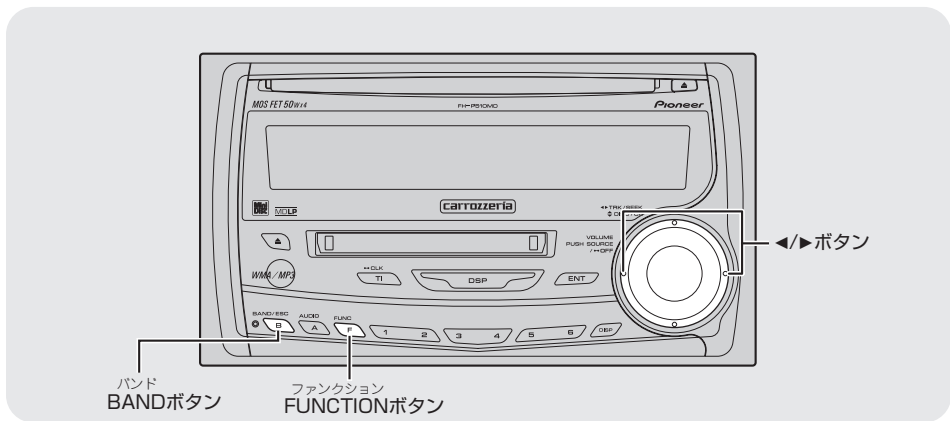


現在のCOMP / BMXの状態が表示されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

- COMP、BMXともに1より2の方が効果が大きくなります。



内蔵CD 7 選曲方法を切り換える

◀または▶ ボタンを操作し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

1 選曲方法切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(内蔵CD① 28ページ)



2 選曲方法を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : Rough (ラフサーチ) を選ぶとき
- ◀ : FF/REV (早送り/早戻し) を選ぶとき



↓
BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

内蔵CD 8 10曲飛びに選曲する ラフサーチ

10曲以上収録されているディスクの場合、10曲飛びに選曲することができます。

1 選曲方法切り換えモードにしてラフサーチを選ぶ (内蔵CD⑦)

2 聞きたい曲を選ぶ

◀または▶ ボタンを左右に0.5秒以上操作する

- ▶ : 10曲先の曲を選ぶとき
- ◀ : 10曲前の曲を選ぶとき



メモ

- 10曲以下のディスクでラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲が選曲されます。ラフサーチ後に残りの曲が10曲以下になった場合も同様です。

CDのタイトルなどを表示させる

タイトル表示

CDのタイトルを表示させるために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル表示について

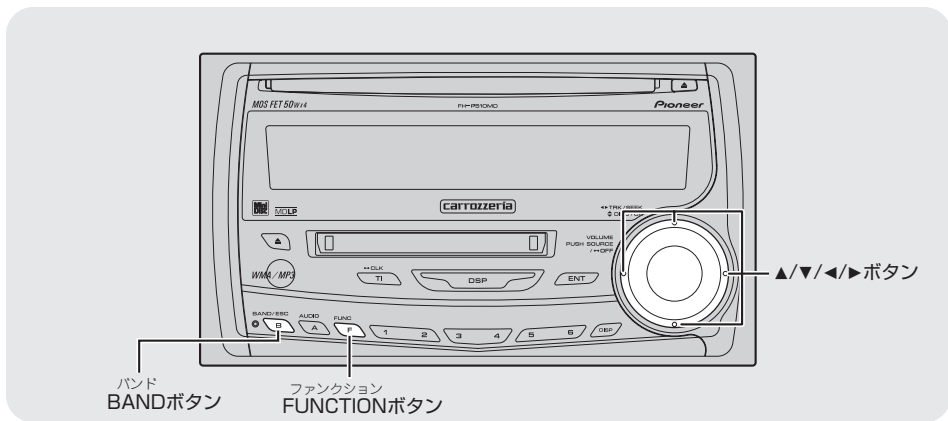
タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルの記憶、表示のしかたは、マルチCDと同じです。(☞ マルチCD 10 62、66ページ)

- タイトルは8文字まで入力・表示できます。
- 内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。
- 48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。
- タイトルを記憶させたCDをマルチCDにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。
- マルチCDを組み合わせると、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

「CD TEXT」を再生したときのタイトルの表示のしかたは、マルチCDと同じです。

(☞ マルチCD 15 66ページ)



1 WMA/MP3/WAV モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- リピートモード
(WMA/MP3/WAV ②)
- ↓
- ランダムモード
(WMA/MP3/WAV ③)
- ↓
- スキャンモード
(WMA/MP3/WAV ④ 36 ページ)
- ↓
- ポーズモード
(WMA/MP3/WAV ⑤ 37 ページ)
- ↓
- COMP 切り換えモード
(WMA/MP3/WAV ⑥ 38 ページ)
- ↓
- 選曲方法切り換えモード
(WMA/MP3/WAV ⑦ 39 ページ)
- ↓
- リピートモードに戻る

メモ

● ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

2 WMA/MP3/WAV 同じ曲やフォルダーを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲や 1 つのフォルダーなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
フォルダーリピート	再生中のフォルダーを繰り返し再生します。
ディスクリピート	本機にセットされているディスクを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(WMA/MP3/WAV ①)



選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ (E WMA/MP3/WAV)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ (E WMA/MP3/WAV)



3 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

メモ

- トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わります。

2 再生範囲を切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



DSC (ディスクリピート)



TRK (トラックリピート)



FLD (フォルダーリピート)



DSC に戻る



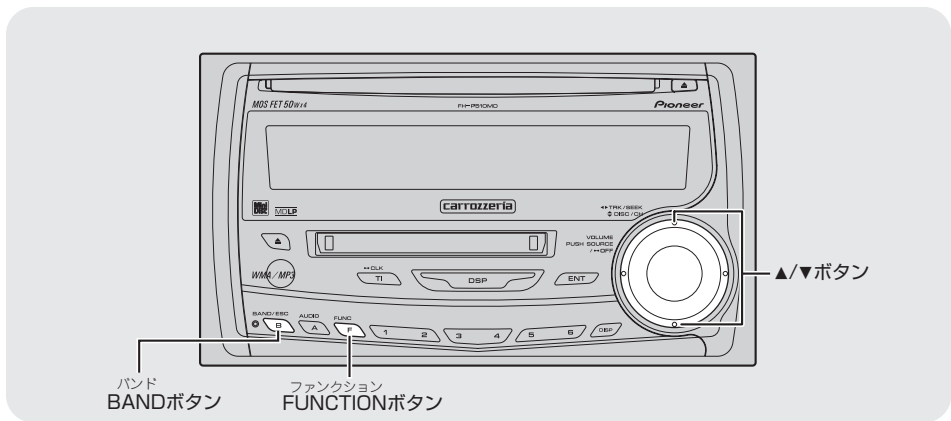
BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートのときは“RPT”が、フォルダーリピートのときは“RPT”と“FOLDER”が表示されます。

メモ

- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内の曲 (WMA/MP3/WAV ファイル) だけを再生します。サブフォルダー内の曲は再生されません。



WMA/
MP3/WAV
4

聞きたい曲やフォルダーをさがす

スキャン再生

今聞いているフォルダー内の曲の出だし部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、全フォルダーの1曲目の出だし部分だけを次々に聞くこともできます。

1

リピートモードにして再生範囲を選ぶ (※ WMA/MP3/WAV ④ 34ページ)

■ 聞きたい曲をさがすとき (トラックスキャン再生)

再生範囲をフォルダーリピートに切り換えます。再生中のフォルダーの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

■ 聞きたいフォルダーをさがすとき (フォルダースキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。ディスク内のすべてのフォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2

スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ (※ WMA/MP3/WAV ① 34ページ)



3

スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の出だしの約10秒間が次々に再生されます。



スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

WMA/MP3/WAV 再生を一時停止することができます。

4 聞きたい曲 (フォルダー) が再生されたらスキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、まず手順2の操作でもう一度スキャンモードにしてください。次に、スキャン再生をOFFにします。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

- スキャン再生を始めた曲 (またはフォルダー) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わります。

1 ポーズモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(▶ WMA/MP3/WAV 34 ページ)



2 WMA/MP3/WAV 再生を一時停止する

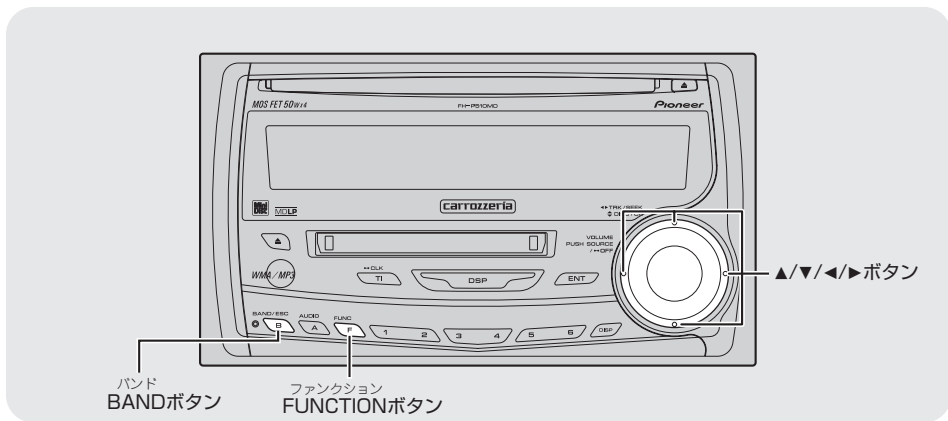
▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。



6 WMA/MP3/WAVの音質を調節する COMP/BMX

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、残響音を補正することができます。

COMP について

COMPは、「COMPression (コンプレッション)」の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

BMX について

BMXは、「Bit MetriX」の略です。音楽の残響音を補正し、自然な広がりを持った音質に改善する機能です。WMA/MP3/WAVなどの残響音の成分を補い、本来の音質を再現することができます。

1 COMP切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(WMA/MP3/WAV) 34ページ)



2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲または▼ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



現在のCOMP/BMXの状態が表示されます。

↓
BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

- COMP、BMXともに1より2の方が効果が大きくなります。

選曲方法を切り換える

◀ または ▶ ボタンを押し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

1 選曲方法切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ WMA/MP3/WAV 34ページ)



2 選曲方法を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : ROUGH (ラフサーチ) を選ぶとき
- ◀ : FF/REV (早送り/早戻し) を選ぶとき



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

フォルダー内の曲を10曲飛びに選曲する

ラフサーチ

10曲以上収録されているフォルダーの場合、10曲飛びに選曲することができます。

1 選曲方法切り換えモードにしてラフサーチを選ぶ

(☞ WMA/MP3/WAV 3)

2 聞きたい曲を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを0.5秒以上押す

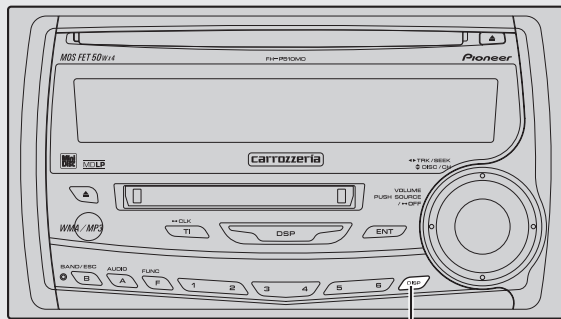
- ▶ : 10曲先の曲を選ぶとき
- ◀ : 10曲前の曲を選ぶとき



曲番号

メモ

- 10曲以下のフォルダーでラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲が選曲されます。ラフサーチ後に残りの曲が10曲以下になった場合も同様です。



ディスプレイ
DISPLAYボタン

WMA / MP3 / WAV
9

WMA/MP3/WAVのタイトルなどを表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

WMA/MP3/WAVファイルに記録された、曲名やフォルダー名、アルバム名などの文字情報のほか、ビットレートなどを表示させることができます。文字情報は、一度に8文字まで表示することができます。また、隠れている文字を順に表示（スクロール表示）させることができます。

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

■ WMA/MP3の場合

再生経過時間表示

↓
フォルダー名 (Folder)

↓
ファイル名 (File)

↓
トラックタイトル (TRK TTL)

↓
トラックアーティストネーム (Artist)

↓
アルバムタイトル (Album)

↓
ビットレート表示

↓
再生経過時間表示に戻る

■ WAVの場合

再生経過時間表示

↓
フォルダー名 (Folder)

↓
ファイル名 (File)

↓
サンプリング周波数

↓
再生経過時間表示に戻る

メモ

- 曲名 (TRK TTL)などが収録されていないCDで表示を切り換えると、“No T-TTL”などと表示されます。
- WMAファイルをエンコードしたWindows Media Playerのバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 漢字やひらがなで入力されたタイトルは、本機では正しく表示されません。正しく表示させるためには、半角の英数字やカナでタイトルを入力してください。
- VBR (可変ビットレート)で記録されたMP3ファイルを再生中に、表示をビットレート表示に切り換えた場合、“VBR”と表示されます。
- VBR (可変ビットレート)で記録されたWMAファイルを再生中に、表示をビットレート表示に切り換えた場合、平均ビットレートが表示されます。
- MP3をライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。

iTunes®は、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。

隠れている文字を表示する

1 隠れているタイトルを表示する

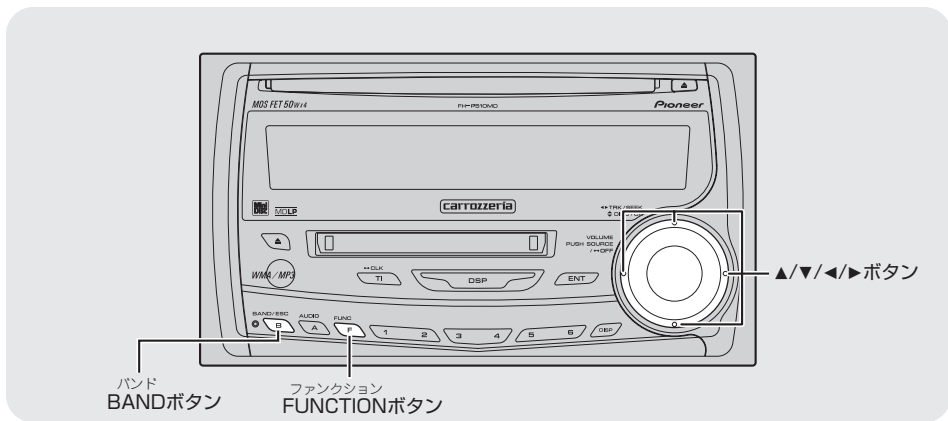
DISPLAY ボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。

メモ

- 初期設定でエバースクロール機能をONにした場合、タイトルが繰り返しスクロール表示します。タイトルの最初の8文字を表示させて、再びスクロールさせたいときは、DISPLAY ボタンを2秒以上押してください。エバースクロールについては(ⓘ) 便利な機能(📖 93ページ)



内蔵MD 1 モードの切り換えかた

内蔵のMDプレーヤーで演奏方法を切り換えて聞くことができます。

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- リピートモード (内蔵 MD ②)
- ↓
- ランダムモード (内蔵 MD ③ 43 ページ)
- ↓
- スキャンモード (内蔵 MD ④ 44 ページ)
- ↓
- ポーズモード (内蔵 MD ⑤ 45 ページ)
- ↓
- リピートモードに戻る

メモ

- ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

内蔵MD 2 同じ曲やグループを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。グループディスクの場合、今聞いている曲や1つのグループなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲(繰り返し聞く範囲)は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
グループリピート	再生中のグループを繰り返し再生します。
ディスクリピート	本機にセットされているディスクを通して再生します。(通常は、このモードにしておきます。)

選曲をMDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(内蔵MD②)



2 再生範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



DSC (ディスクリピート)



TRK (トラックリピート)



GRP (グループリピート)



DSCに戻る



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートのときは、“RPT”、グループリピートのときは“RPT”と“GROUP”が表示されます。

メモ

- グループディスク以外では、GRP (グループリピート) には切り換わりません。

1 グループディスクの場合、リピートモードにして再生範囲を選ぶ

(内蔵MD②)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムプレイモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ



3 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



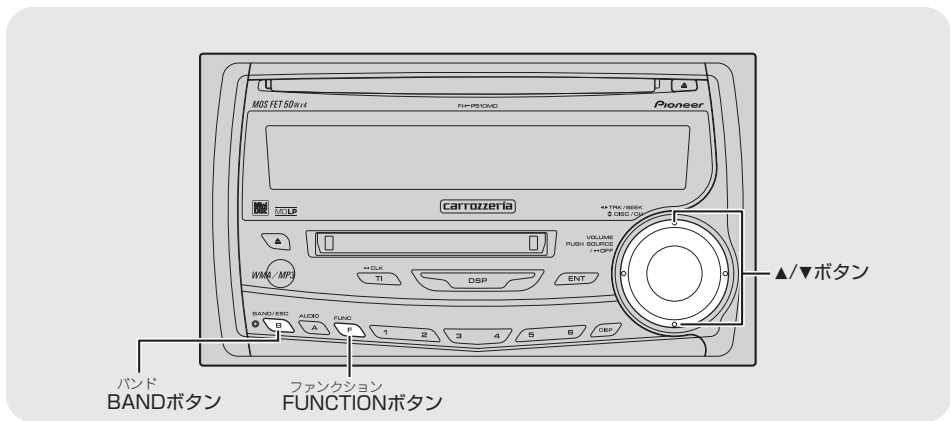
次の曲から、ランダムに選曲します。



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。



内蔵MD
4

聞きたい曲やグループをさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ徐々に聞くことができます。グループディスクの場合、今聞いているグループの曲の出だし部分だけを徐々に聞くことができます。また、全グループの1曲目の出だし部分だけを徐々に聞くこともできます。

1 グループディスクの場合、リピートモードにして再生範囲を選ぶ

(☞ 内蔵MD② 42ページ)

■ 聞きたい曲をさがすとき (トラックスキャン再生)

再生範囲をグループリピートに切り換えます。再生中のグループの全曲を、約10秒ずつ再生することができます。

■ 聞きたいグループをさがすとき (グループスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。ディスク内の全グループの1曲目だけを、約10秒ずつ再生することができます。

2 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ



3 スキャン再生を始める

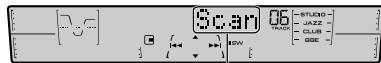
▲ ボタンを押す



曲の出だしの約10秒間が徐々に再生されます。



スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

MD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

(☞ 内蔵MD① 42ページ)

FUNCTION ボタンを押して選ぶ



2 MD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

4 聞きたい曲 (グループ) が再生されたらスキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、まず手順2の操作でもう一度スキャンモードにしてください。次に、スキャン再生をOFFにします。

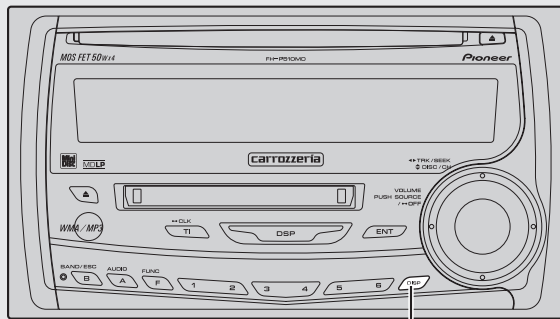
スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

- スキャン再生を始めた曲 (またはグループ) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- トラックリピートのときにスキャン再生をONにすると、再生範囲がグループリピートに切り換わり、スキャン再生します。



ディスプレイ
DISPLAYボタン

内蔵MD

6

MDのタイトルなどを表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

再生経過時間以外に、ディスクタイトルやトラックタイトル(曲名)などを表示させることができます。タイトルは一度に8文字まで表示することができます。また、隠れている文字を順に表示(スクロール表示)させることができます。

タイトル表示について

- 本機のMD文字表示は、英数字のみに対応しています。
- 本機では、MDの録音方式にかかわらずトラックタイトル先頭の「LP:」を表示しません。(☞ はじめに ④ 13ページ)
(長時間録音されたトラックタイトルの先頭には、「LP:」があらかじめ入力されている場合があります。)
- 表示をディスクタイトルおよびトラックタイトル(曲名)に切り換えたときに、自動的に1回スクロール表示します。
- エバースクロール設定をONにした場合は、タイトルが繰り返しスクロール表示します。(☞ 便利な機能 ④ 93ページ)

メモ

- ディスクタイトルおよびトラックタイトル(曲名)が入力されていないMDで表示を切り換えると、“No Data”と表示されます。

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

■ グループディスク以外の場合

再生経過時間表示

↓
ディスクタイトル (Disc TTL)

↓
トラックタイトル (TRK TTL)

↓
再生経過時間表示に戻る

■ グループディスクの場合

再生経過時間表示

↓
ディスクタイトル (Disc TTL)

↓
グループタイトル (GroupTTL)

↓
トラックタイトル (TRK TTL)

↓
再生経過時間表示に戻る

隠れている文字を表示する

1 隠れているタイトルを表示する (スクロール表示)

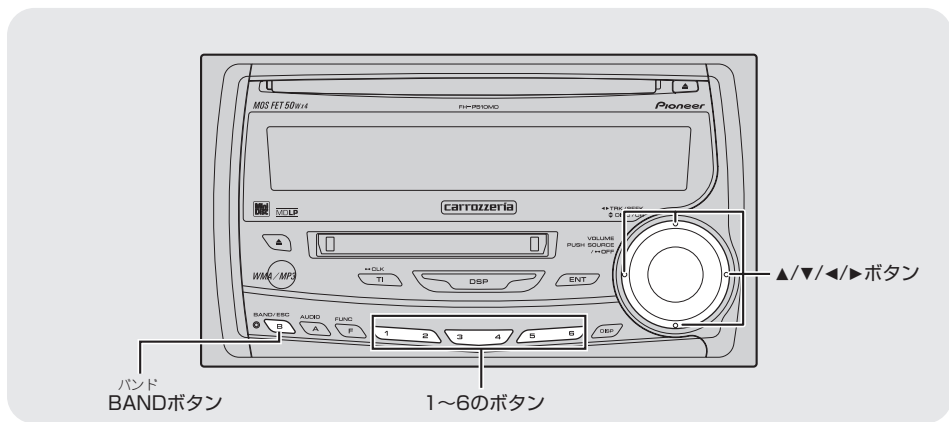
DISPLAY ボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。

メモ

● 初期設定でエバースクロール機能をONにした場合、タイトルが繰り返しスクロール表示します。タイトルの最初の8文字を表示させて、再びスクロールさせたいときは、DISPLAY ボタンを2秒以上押してください。エバースクロールについては (EBS 便利な機能 93 ページ)



ラジオ 1 放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

お好みの放送局を、1～6のボタンに1局ずつ手動で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

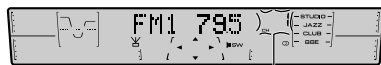
BAND ボタンを押す
(☞ ここだけで⑥ 24ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(☞ ここだけで⑥ 25ページ)

3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

メモ
● 記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ②)

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

( ここだけで⑤ 24 ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

■記憶させた放送局を直接呼び出す

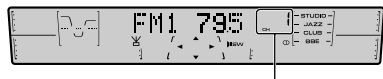
1～6のボタンの1つを押す

■記憶させた放送局を順番に呼び出す

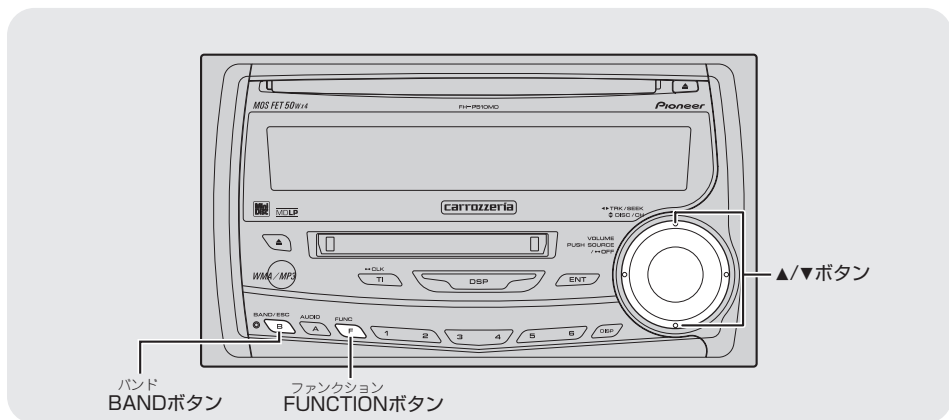
▲または▼ボタンを押す

▲：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号



ラジオ 3 モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードにする

FUNCTION ボタンを押す

BSMモードになります。

(ラジオ④)

メモ

- ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

放送局名選択モードになります。

(ラジオ⑤ 52ページ)

メモ

- 詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

複数の放送局を自動的に記憶させる


BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6の記憶番号に記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
( ここだけで⑤ 24ページ)

2 BSMモードにする

FUNCTION ボタンを押す
( ラジオ③)



3 BSM を始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)

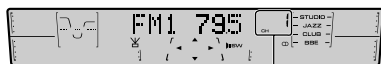


記憶動作中に点滅します。




記憶が終わると点滅が止まり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

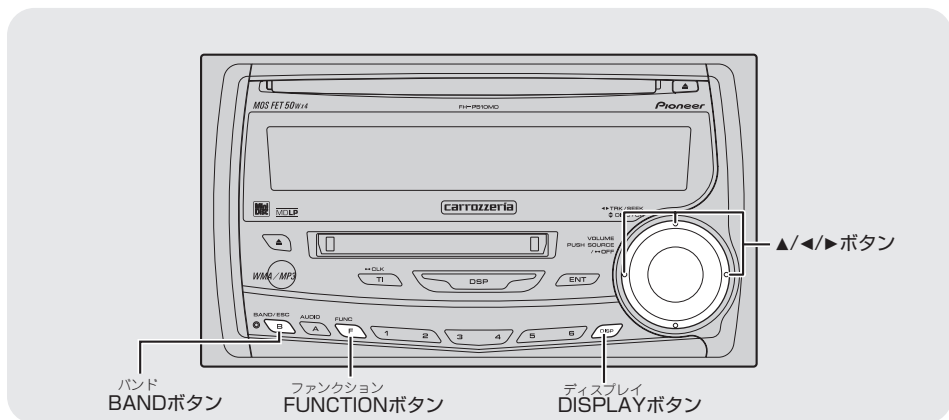
BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



受信中の記憶番号

メモ

- 受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
- BSMとは、「Best Stations Memory (ベストステーションズ メモリー)」の略です。
- 記憶させた放送局を呼び出すには ( ラジオ④ 49ページ)



ラジオ 5 放送局名を選ぶ

放送局名選択

ラジオの放送局名を表示させる (※ ラジオ⑥) ために、あらかじめ放送局名を選んでおきます。

放送局名表示について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例：FM 80.0MHz を使用している放送局は、「TOKYO FM」「FM青森」「FM福岡」など複数あります。)

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名が受信している放送局名と異なるような場合は、放送局名を変更して表示することができます。

1 バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(※ ここだけで⑥ 24ページ)

2 放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(※ ここだけで⑥ 25ページ)

3 放送局名選択モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す
(※ ラジオ④ 50ページ)



約2秒間表示されます。

受信周波数以外に、放送局名選択で選んだ放送局名を表示させることができます。

4 放送局名を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次の放送局名を選ぶとき

◀ : 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名が点滅します。

ご注意

本機に登録されていない放送局名は選べません。

5 放送局名を変更する

▲ ボタンを押す



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

- 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“No Data”と表示されます。
- 放送局名を表示させたくないときは、“-----” (すべて空白) を選んでください。
- パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCDをお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせて、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示させることができます。
- パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせて、放送局名を“FMTV SND”に変更して表示させることができます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

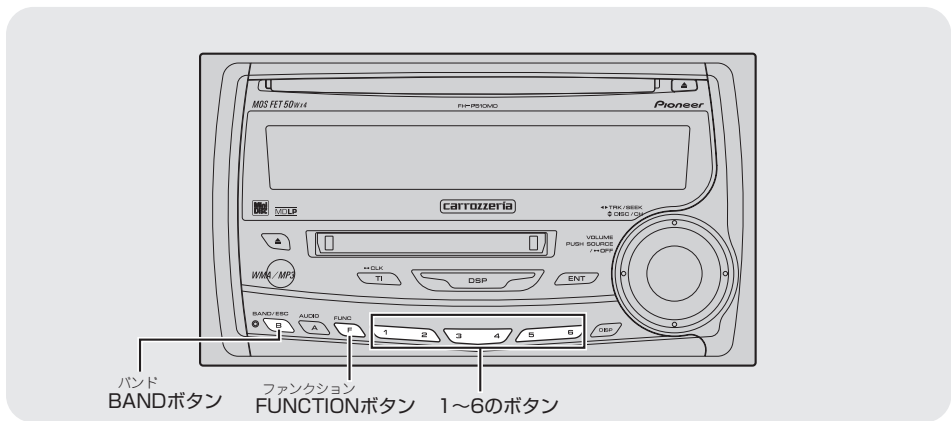
受信周波数表示



放送局名表示



受信周波数表示に戻る



マルチCD 1 聞きたいCDを 直接選ぶ

ダイレクトサーチ

聞きたいCDを直接選ぶことができます。

1 聞きたいCDを選ぶ

1～6のボタンを押す

2秒未満：1～6枚目のCDを選ぶとき
2秒以上：7～12枚目のCDを選ぶとき



CD番号

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード

(マルチCD③ 56ページ)



タイトルリストモード

(マルチCD⑩ 65ページ)



ランダムモード

(マルチCD⑥ 58ページ)



スキャンモード

(マルチCD④ 57ページ)



ITS再生モード

(マルチCD⑦ 60ページ)



ポーズモード

(マルチCD⑫ 65ページ)



COMP切り換えモード

(マルチCD⑪ 64ページ)



リピートモードに戻る

メモ

- ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード*1

(マルチCD⑩ 62ページ)



ITS入力モード

(マルチCD⑥ 59ページ)

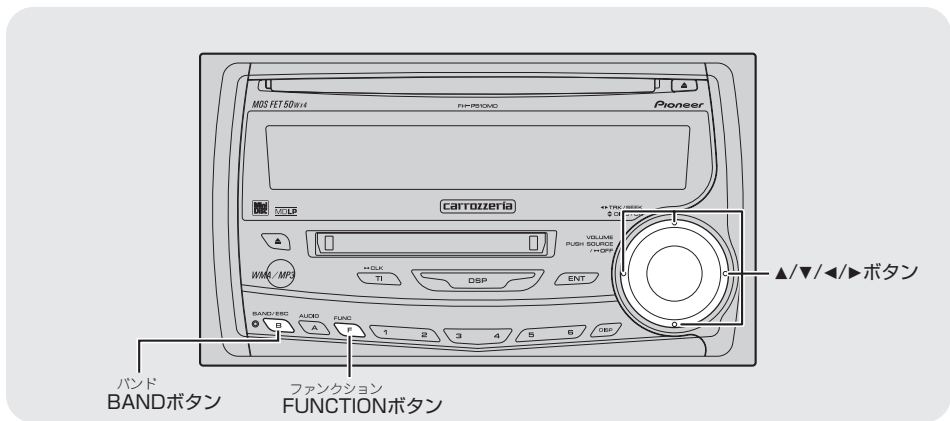


タイトル入力モードに戻る

メモ

- 詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

*1「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー(「CDX-P670」など)で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)



マルチCD 3 同じ曲やCDを繰り返し聞く リピート再生

今聞いている曲や1枚のCDなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(マルチCD ② 55ページ)



2 再生範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



MCD (マルチCDリピート)

↓
TRK (トラックリピート)

↓
DSC (ディスクリピート)

↓
MCD に戻る

↓
BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートのときは“RPT”、ディスクリピートのときは“RPT”と“DISC”が表示されます。

聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの曲の出だし部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、全CDの1曲目の出だし部分だけを次々に聞くこともできます。

1 リpeatモードにして 再生範囲を選ぶ (E3 マルチCD③)

■ 聞きたい曲をさがすとき (トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

■ 聞きたいCDをさがすとき (ディスクスキャン再生)

再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内の全CDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(E3 マルチCD② 55ページ)



3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の出だしの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、まず手順2の操作でもう一度スキャンモードにしてください。次に、スキャン再生をOFFにします。

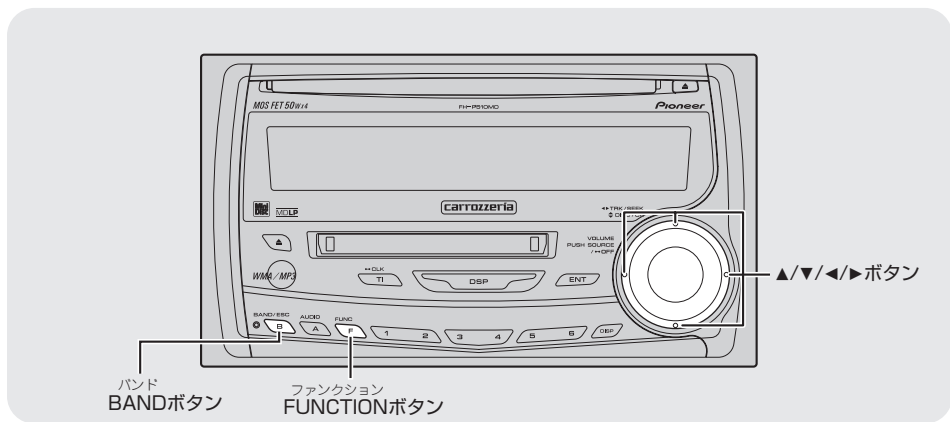
スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

- スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。



マルチCD 5 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

1 リpeatモードにして再生範囲 を選ぶ (E3 マルチCD 56ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(E3 マルチCD 55ページ)



3 ランダム再生をONにする

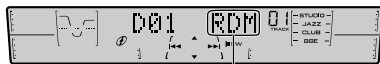
▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

メモ

- トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。

聞きたい曲だけ指定しておく

ITS指定

指定した曲だけ再生する (※ マルチCD⑦ 60ページ) ために、聞きたい曲をあらかじめ指定しておきます。

ITSについて

ITSとは、「Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション)」の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを指定しておき、それを再生する機能です。

- 曲の指定はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの指定は消えません。
- CD1枚につき99曲まで指定することができます。(「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、指定できる曲は24曲目までです。)
- ITSは、タイトル (※ マルチCD⑩ 62ページ) と合わせてCD100枚分の指定ができます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの指定が解除されて、新しいCDが指定されます。

1 指定したいCDを再生する

- ▲ または ▼ ボタンを押す
(※ ここだけで⑥ 26ページ)

2 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(※ マルチCD② 55ページ)



3 指定したい曲を選ぶ

- ◀ または ▶ ボタンを押す
(※ ここだけで⑥ 26ページ)

4 指定する

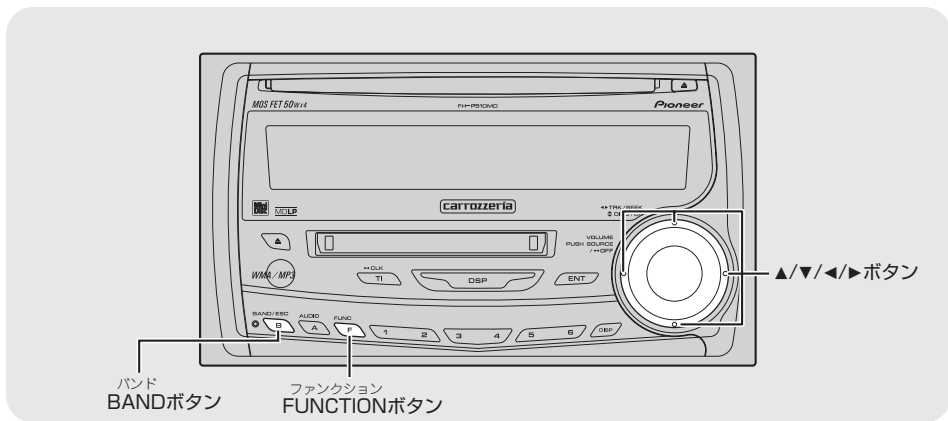
- ▲ ボタンを押す



約2秒間表示され、指定したことを知らせます。



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD 7 指定した曲だけ再生する

ITS再生

ITS指定 (☞ マルチCD ⑥ 59ページ) で指定した曲だけを再生することができます。

1 リpeatモードにして再生範囲を選ぶ

(☞ マルチCD ③ 56ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS再生モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ② 55ページ)



3 ITS再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、指定した曲だけが再生されます。



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

メモ

- 手順1で選んだ再生範囲内に指定した曲がない場合は、“ITSempty”が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

曲の指定を 1曲ずつ解除する

ITS解除 (1曲ずつ)

指定した曲を1曲ずつ解除できます。

1 ITS再生をONにする

(マルチCD⑦)

2 指定を解除したい曲を再生する

◀または▶ ボタンを押す
(ここだけで⑥ 26ページ)

3 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(マルチCD② 55ページ)



4 解除する

▼ ボタンを押す



次に指定されている曲

再生していた曲の指定が解除され、次に指定されている曲が再生されます。



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

- 現在の再生範囲内に指定された曲がなくなった場合は、“ITSEmpty” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

曲の指定を CDごとに解除する

ITS解除 (CDごと)

指定した曲をCDごとに解除できます。

1 指定を解除したいCDを再生する

▲または▼ ボタンを押す
(ここだけで⑥ 26ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。(マルチCD⑧)

2 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(マルチCD② 55ページ)



3 解除する

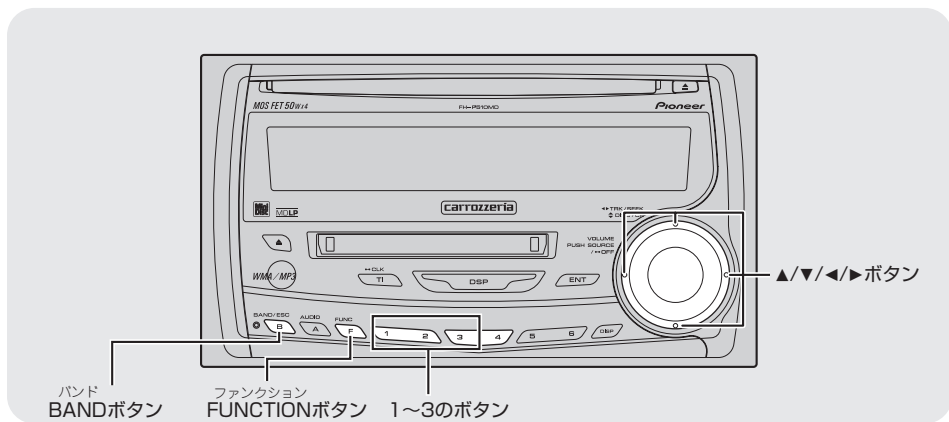
▼ ボタンを押す



約2秒間表示され、解除したことを知らせます。



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD 10 CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる (※ マルチCD 10 66ページ) ために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルを付けるとタイトルリスト (※ マルチCD 10 65ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルで、同様にタイトルリスト機能を使うことができます。

- タイトルは8文字まで入力できます。
- 記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。
- タイトルは、ITS (※ マルチCD 10 59ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(※ ここだけで 26ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(※ マルチCD 10 55ページ)



約2秒間表示されます。

ご注意

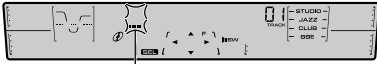
「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルは変更できません。)

3 タイトルを入力する

■ 入力する位置を選ぶとき

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき

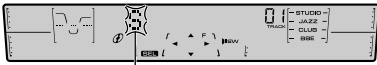


入力する位置でカーソルが点滅します。

■ 入力する文字を選ぶとき

▲ または ▼ ボタンを押す

- ▲ : 次の文字を選ぶとき
- ▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

■ 文字の種類を変更するとき

1、2、3 ボタンを押す

文字は次のように切り換わります。

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	<ul style="list-style-type: none"> → アルファベットの小文字 (a~z)、空白 (_) → アルファベットの大文字 (A~Z)、数字 (0~9)、記号 (!、#、&など)
2ボタン	<ul style="list-style-type: none"> → 数字 (0~9)、記号 (!、#、&など)、空白 (_)
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	<ul style="list-style-type: none"> → カタカナ (ア~ン)、音引き (ー)、空白 (_) → 拗促音 (ア、ヨ、ツなど)、濁点、半濁点、空白 (_)

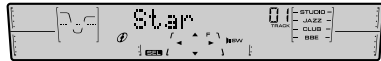
4 入力が終わったら 8文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、8文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ ボタンを押す



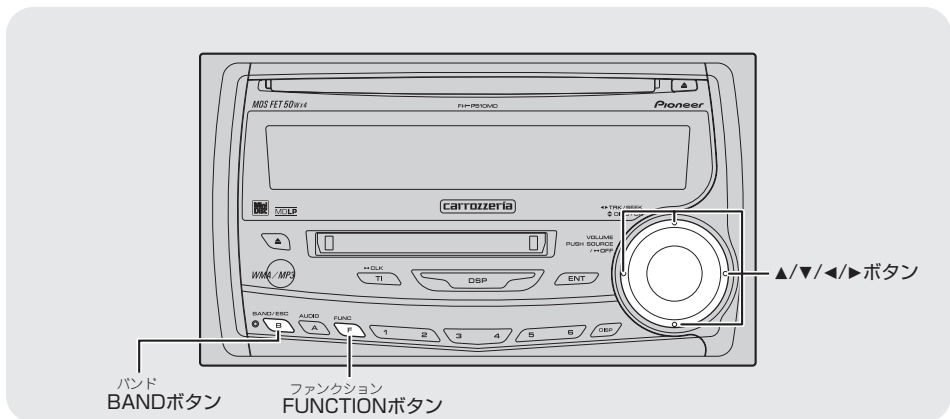
入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

- タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にBAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)



マルチCD 11 CDの音質を調節する

COMP/DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック ◆ COMP/DBE 機能の付いたマルチCD プレーヤーで操作できます。

COMP について

COMPは、「COMPRESSION (コンプレッション)」の略です。コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBE について

DBEは、「Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス)」の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(マルチCD ② 55 ページ)



ご注意

COMP/DBE 機能のないマルチCDを組み合わせたときは、「NO COMP」と表示されて操作できません。

2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲または▼ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

- COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

CD再生を
一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(E3 マルチCD 55ページ)



2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

タイトルを見て
聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 タイトルリストモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(E3 マルチCD 55ページ)



約2秒間表示されます。

2 聞きたいCDを選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき
- ◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



CD番号が 記憶されているタイトルの点滅します。 5文字目まで表示されます。

3 選んだCDを再生する

▲ ボタンを押す

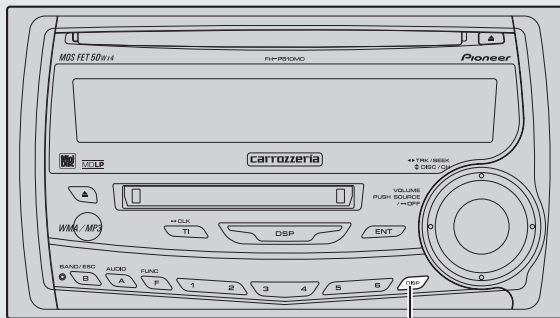


選んだCDが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

- タイトルが入力されていないCDを選んだときは、CD番号だけが表示されます。



ディスプレイ
DISPLAYボタン

マルチCD
14

CDのタイトルなどを表示させる

ディスクタイトル表示

タイトル入力 (P3 マルチCD⑩ 62ページ) で入力したCDのタイトルを表示させることができます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示



ディスクタイトル (Disc TTL)



再生経過時間表示に戻る

メモ

- タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、“No D-TTL”と表示されます。

マルチCD
15

「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など)に「CD TEXT」をセットしたとき、ディスクタイトルやトラックタイトルなどを表示させることができます。一度に8文字まで表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

チェック ◆ 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など)の機能です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



タイトル表示について

本機の「CD TEXT」文字表示は、英数字のみに対応しています。

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示



ディスクタイトル (Disc TTL)



ディスクアーティストネーム (Disc ART)



トラックタイトル (TRK TTL)



トラックアーティストネーム (TRK ART)



再生経過時間表示に戻る

メモ

- トラックアーティストネーム (歌手名) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、“No Name”などと表示されます。

隠れている文字を表示する

1 隠れているタイトルを表示する

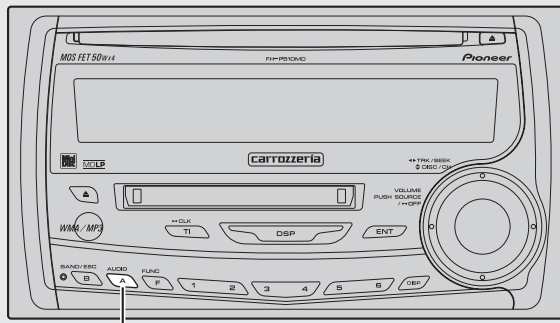
DISPLAY ボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。

メモ

- 初期設定でエバースクロール機能をONにした場合、タイトルが繰り返しスクロール表示します。タイトルの最初の8文字を表示させて、再びスクロールさせたいときは、DISPLAY ボタンを2秒以上押してください。エバースクロールについては(※) 便利な機能 93ページ)

オーディオ
AUDIOボタン

音の調節

1

オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。RCA外部出力の設定 (E音の調節機能 91 ページ) により、モードの切り換わり方が変わります。

RCA外部出力がサブウーファー出力“P/O:Subw”のとき

1 オーディオ調節モードを切り換える

AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード
(E音の調節 2 70 ページ)

↓
ラウドネスモード
(E音の調節 3 71 ページ)

↓
サブウーファーモード
(E音の調節 4 72 ページ)

↓
サブウーファー調節モード *1
(E音の調節 4 73 ページ)

↓
サブウーファースロープ調節モード *1
(E音の調節 4 73 ページ)

↓
ハイパスフィルターモード (フロント)
(E音の調節 5 74 ページ)

↓
ハイパスフィルタースロープ
調節モード (フロント) *2
(E音の調節 5 75 ページ)

ハイパスフィルターモード (リア)
(E音の調節 6 74 ページ)

↓
ハイパスフィルタースロープ
調節モード (リア) *3
(E音の調節 6 75 ページ)

↓
音量バランス調節モードに戻る

メモ

- オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
- *1 サブウーファーモード (E音の調節 4 72 ページ) をOFFにした場合は、サブウーファー調節モードとサブウーファースロープ調節モードには切り換わりません。
- *2 ハイパスフィルターモード (フロント) (E音の調節 5 74 ページ) をOFFにした場合は、ハイパスフィルタースロープ調節モード (フロント) には切り換わりません。
- *3 ハイパスフィルターモード (リア) (E音の調節 6 74 ページ) をOFFにした場合は、ハイパスフィルタースロープ調節モード (リア) には切り換わりません。

RCA外部出力がフル出力“P/O:Full”のとき

1 オーディオ調節モードを切り換える

AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード

(音の調節② 70ページ)



ラウドネスモード

(音の調節③ 71ページ)



ノンフェーディングモード

(音の調節⑥ 76ページ)



ノンフェーディング調節モード *1

(音の調節⑥ 76ページ)



ハイパスフィルターモード(フロント)

(音の調節⑤ 74ページ)



ハイパスフィルタースローブ

調節モード(フロント) *2

(音の調節⑤ 75ページ)



ハイパスフィルターモード(リア)

(音の調節⑤ 74ページ)



ハイパスフィルタースローブ

調節モード(リア) *3

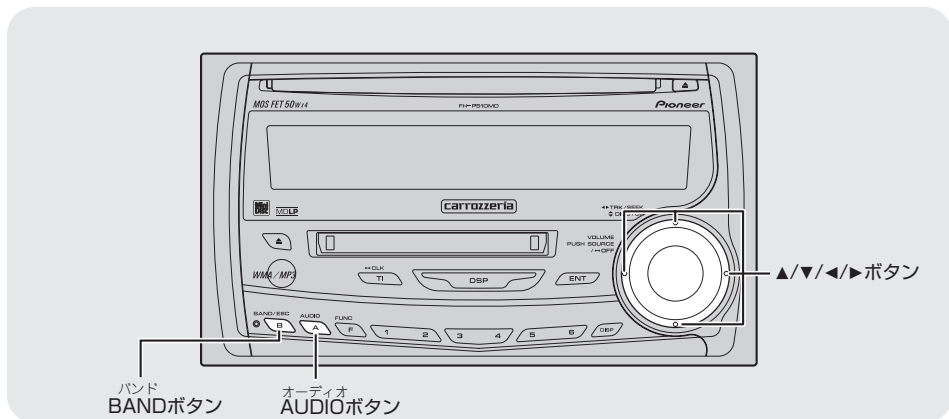
(音の調節⑤ 75ページ)



音量バランス調節モードに戻る

メモ

- オーディオ調節モードを解除するには、BANDボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
- *1 ノンフェーディングモード (音の調節⑥ 76ページ) をOFFにした場合は、ノンフェーディング調節モードには切り換わりません。
- *2 ハイパスフィルターモード(フロント) (音の調節⑤ 74ページ) をOFFにした場合は、ハイパスフィルタースローブ調節モード(フロント)には切り換わりません。
- *3 ハイパスフィルターモード(リア) (音の調節⑤ 74ページ) をOFFにした場合は、ハイパスフィルタースローブ調節モード(リア)には切り換わりません。



音の調節

2

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダーバランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1

音量バランス調節
モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

(音の調節① 68、69ページ)



2

音量バランスを調節する

■前後を調節する

▲または▼ ボタンを押す

- ▲ : 前を強めるとき
- ▼ : 後ろを強めるとき



前後のバランスはF25～R25の範囲で調節
できます。

■左右を調節する

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 右を強めるとき
- ◀ : 左を強めるとき



左右のバランスはL25～R25の範囲で調節
できます。



BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード
を解除してください。

小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 ラウドネスモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

( 音の調節 68、69ページ)



2 ラウドネスをONにする

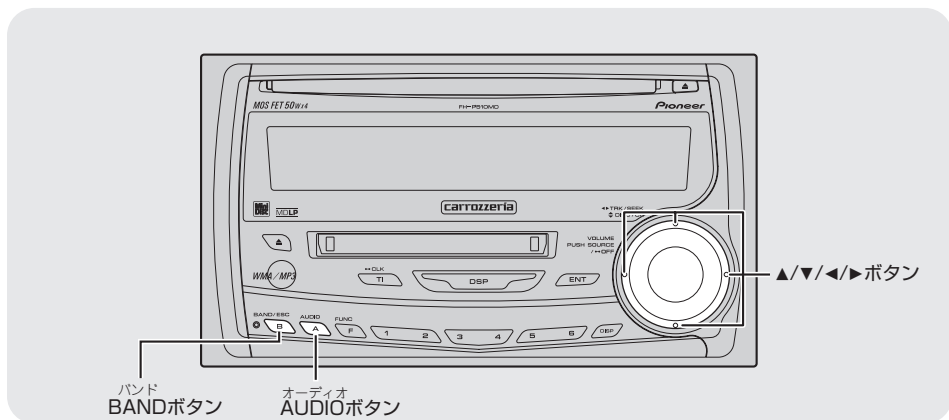
▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ラウドネスがONのときに表示されます。



BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。



音の調節

4

サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、RCA出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。(この機能は、初期設定ではONになっています。)

位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転（干渉）すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相（フロント/リアスピーカーと同時に出力される）が良いか、逆相（フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される）が良いかを選んで設定してください。

カットオフ周波数について

50、63、80、100、125 (Hz) から選んだ周波数以下の音域が、サブウーファーから出力されます。

スロープについて

スロープ（減衰の傾き）を調節することにより、サブウーファーとフロント/リアスピーカーの音のつながりを調整することができます。

1 サブウーファーモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

(※ 音の調節 68 ページ)



2 サブウーファーをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



サブウーファーがONのときに表示されます。

3 位相を切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : Phase:NOR (正相)

◀ : Phase:REV (逆相)



NORとREVを切り換えることができます。

4 サブウーファー調節モードにする

AUDIO ボタンを押す



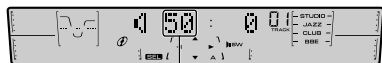
5 カットオフ周波数とレベルを調節する

■ 周波数を選ぶとき

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、63、80、100、125 (Hz) のの中から選ぶことができます。

■ レベルを調節するとき

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



レベルは-24～+6の範囲で調節できます。

6 サブウーファースロープ調節モードにする

AUDIO ボタンを押す



7 スロープを調節する

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 18 (dB/oct.)

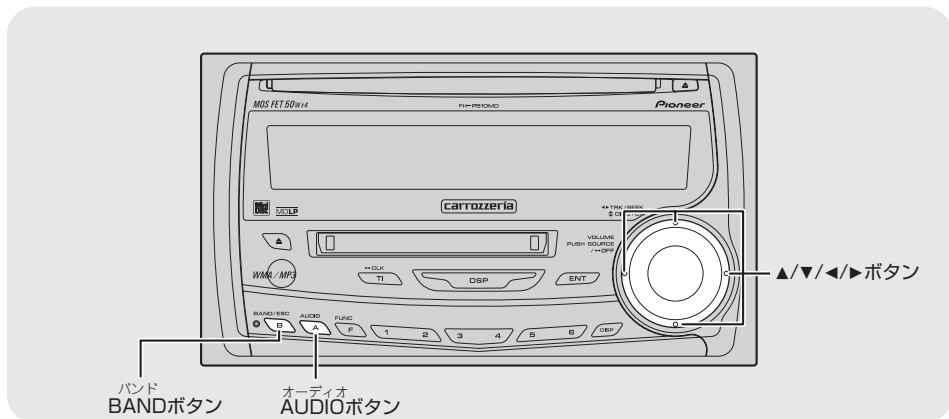
◀ : 12 (dB/oct.)



BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

- RCA 外部出力の設定 (E38 便利な機能 91 ページ) を "P/O:Full" にした場合は、サブウーファースロープ調節はできません。
- サブウーファー機能を OFF にした場合は、サブウーファー調節モードとサブウーファースロープ調節モードには切り換わりません。



音の調節

5

低い音をスピーカーから出力させない

ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターをONにすると、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されなくなります。

ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域（低域）をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。フロントスピーカーとリアスピーカーで別々に調節することができます。

カットオフ周波数について

50、63、80、100、125 (Hz) から選んだ周波数より高い音域が各スピーカーから出力されます。

スロープについて

スロープ（減衰の傾き）を調節することにより、サブウーファーとフロント/リアスピーカーの音のつながりを調整することができます。

1 ハイパスフィルターモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

(※ 音の調節 68、69 ページ)



F-HPF：フロントスピーカーを調節するとき

R-HPF：リアスピーカーを調節するとき

2 ハイパスフィルターをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



3 ハイパスフィルターの カットオフ周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、63、80、100、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

選んだ周波数より高い周波数の音だけが、各スピーカーから出力されます。

4 ハイパスフィルタースロープ 調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

(音の調節 68、69ページ)



F-SLP : フロントスピーカーを調節するとき

R-SLP : リアスピーカーを調節するとき

5 スロープを調節する

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 6 (dB/oct.)

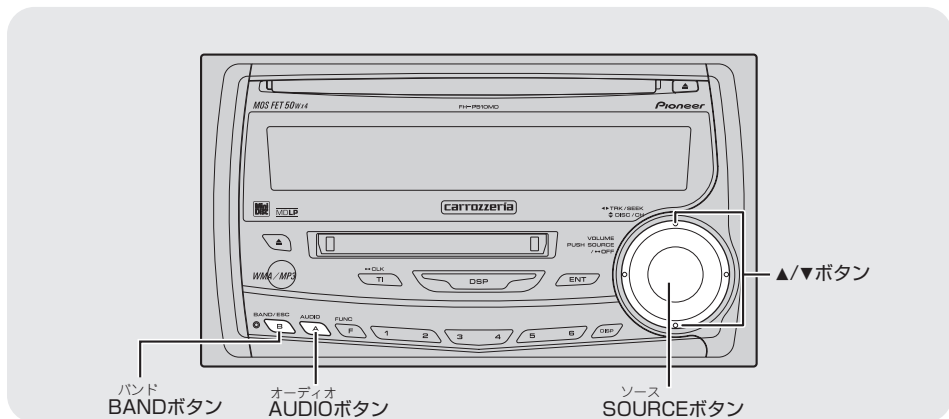
◀ : 12 (dB/oct.)



BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

- ハイパスフィルター機能をOFFにした場合は、ハイパスフィルタースロープ調節モードには切り換わりません。

音の調節
6

外部アンプなどでサブウーファーを調節する

ノンフェーディング

本機のローパスフィルター（サブウーファー）を通さずに、原音のままRCA出力から音声信号を出力することができます。また、その出力レベルを調節することもできます。

1 ノンフェーディングモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(音の調節① 69ページ)



2 ノンフェーディングをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



3 ノンフェーディング調節モードにする

AUDIO ボタンを押す



4 レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



-24 ~ +6 の範囲で調節できます。



BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

- RCA 外部出力の設定 (便利な機能① 91ページ) をサブウーファーにした場合は、ノンフェーディングの調節はできません。
- ノンフェーディングを OFF にした場合は、ノンフェーディング調節モードには切り換わりません。

各ソースの音量をそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる

SOURCE ボタンを押す

(☞ ここだけで⑤ 24ページ)

2 調節したいソースに切り換える

SOURCE ボタンを押す

(☞ ここだけで① 16ページ)

3 SLAモードにする

AUDIO ボタンを2秒以上押す



4 レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



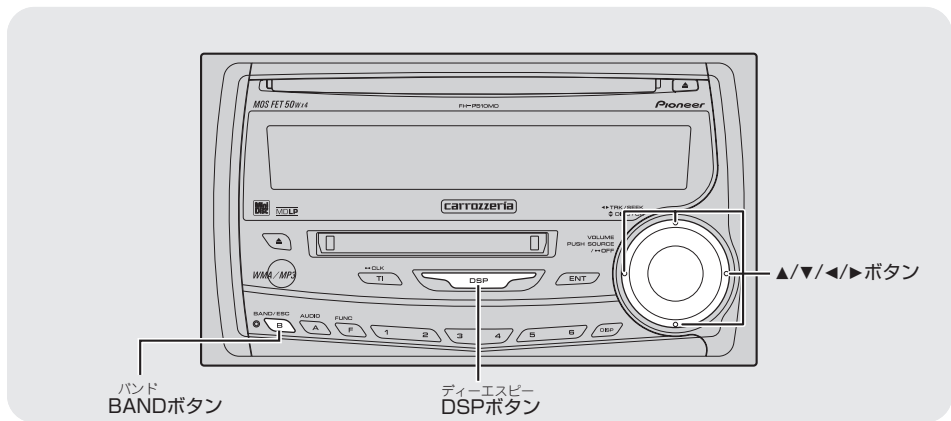
−4～+4の範囲で調節できます。



BAND ボタンを押して、SLA モードを解除してください。

メモ

- SLAとは「Source Level Adjuster (ソース レベル アジャスター)」の略です。
- FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときはSLAモードに切り換えることはできません。
- AM、テレビ、CD、MD、AUX (外部機器)、エクスターナルユニットのそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、エクスターナル1とエクスターナル2、およびAMと交通情報 (☞ 便利な機能③ 85ページ) は同じ設定になります。



DSP 調節 1 DSP 調節モードの 切り換えかた

DSPの機能を使って音場と音質を調節するときは、DSP 調節モードを切り換えて操作します。

1 DSP 調節モードを 切り換える

DSP ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

グラフィックイコライザーモード

(DSP 調節②)



イコライザー調節モード

(DSP 調節④ 80 ページ)



リスニングポジションセレクターモード

(DSP 調節⑤ 82 ページ)



SFC モード

(DSP 調節⑥ 83 ページ)



グラフィックイコライザーモードに戻る

メモ

- DSP 調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。ただし、イコライザー調節モードを選んでいるときは、自動的に解除されません。)

音楽に合った音質を設定する

グラフィックイコライザー

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から、お好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

CTM (CUSTOM) について

CTM1とCTM2は、お好みに合わせて調節することができます。

(**▶** DSP 調節④ 80ページ)

FLAT について

イコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えることで、設定したイコライザーカーブの効果を確認することができます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(**▶** DSP 調節①)

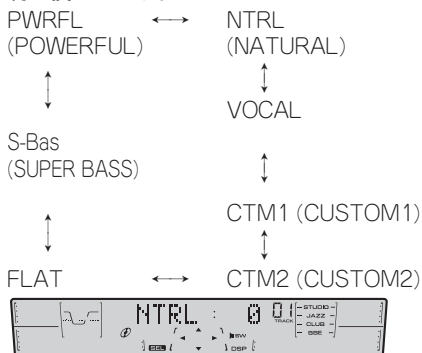


現在のイコライザーカーブが表示されます。

2 イコライザーカーブを切り換える

◀または▶ ボタンを押す

◀または▶ ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

- 交通情報 (**▶** 便利な機能④ 85ページ) を受信しているときは、イコライザーカーブを選ぶことはできません。

イコライザーカーブを大まかに補正する

ニュアンスコントロール

呼び出したイコライザーカーブは、全体的なバランスはくずさずに、大まかに強めたり弱めたりすることができます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(**▶** DSP 調節①)



2 補正したいイコライザーカーブに切り換える

(**▶** DSP 調節②)

◀または▶ ボタンを押す

ご注意

FLATおよび、すべての周波数が“0”に設定されているCTM1、2を補正することはできません。



3 イコライザーカーブを補正する

▲または▼ ボタンを押す

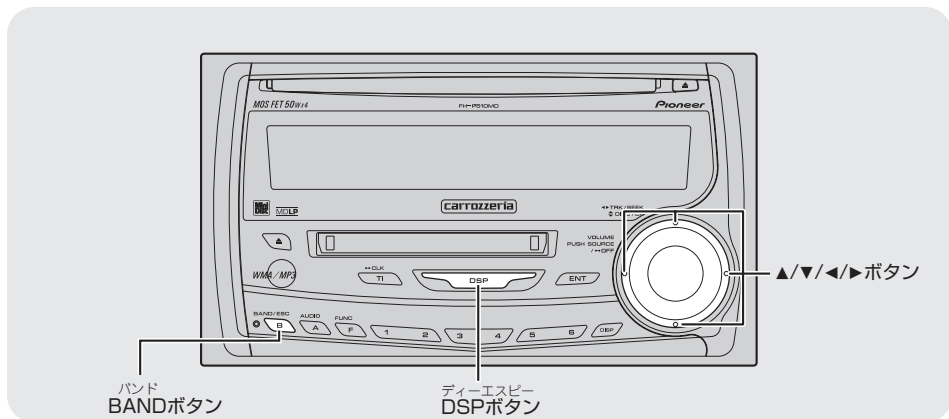
- ▲：効果を強めるとき
- ▼：効果を弱めるとき



−5〜+6の範囲で調節できます。

(S-BasとCTM1、2は−6〜+6の範囲で調節できます。ただし、CTMに記憶されているカーブによっては、調節できる範囲が狭くなることがあります。)

BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。



DSP調節 4 イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザー調節

お好みに合わせて、イコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。調節した内容は自動的に記憶されます。

CTM1 について

CTM1には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。(内蔵CDとマルチCD、およびエクスターナル1とエクスターナル2は同じ設定になります。)また、一度も調節をしていないソースでは、最後に他のソースで調節した内容が呼び出されます。

CTM2以外のカーブを選んでいるときに調節すると、調整したカーブが“CTM1”に記憶されます。

CTM2 について

CTM2は、すべてのソースに共通したイコライザーカーブです。お好みに合わせて調節することができます。

CTM2を選んでいるときに調節すると、調節したカーブが新しいCTM2として記憶されます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP 調節① 78 ページ)



2 調節したいイコライザーカーブを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

(DSP 調節② 79 ページ)



3 イコライザー調節モードにする

DSP ボタンを押す



4 各周波数ごとのレベルを調節する

■ 周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す



周波数は、次の中から選べます。

50、100、200、400、800、1.6k、3.15k、
6.3k、12.5k (Hz)

■ レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 効果を強めるとき

▼ : 効果を弱めるとき

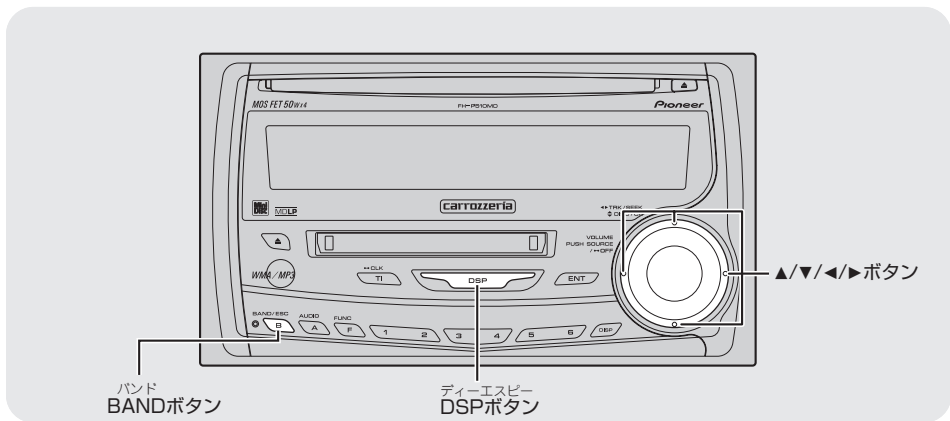


“CUSTOM” が
表示されます。

レベルは -6 ~ +6 の
範囲で調節できます。



BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。



DSP調節 5 音場の中心で聞く

リスニングポジションセクター




乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。

リスニングポジションセクターについて



リスニングポジションセクターは、座席位置や人数に合わせて、自動的に各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルが調節される機能です。この機能により、どの座席位置でも自然な音響特性が得られます。

乗車位置について

表示	乗車位置
 Front-R	右ハンドル車に運転者のみがいるとき
 Front-L	左ハンドル車に運転者のみがいるとき
 Front	同乗者が助手席にいるとき
 All	同乗者が後部座席にいるとき

1 リスニングポジションセクターモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ
( DSP 調節① 78 ページ)



2 乗車位置を選ぶ

▲、▼、◀、▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに ON/OFF します。


- ▶ : Front-R
- ◀ : Front-L
- ▲ : Front
- ▼ : All



選んだ乗車位置 ポジションマークが表示されます。表示されます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

- リスニングポジションごとに、音量バランス ( 音の調節② 70 ページ) を記憶させることができます。

イメージに合った演奏会場を再現する

SFC/BBE

SFCで実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。また、BBEではレベルを調節することができます。

SFCについて

SFCとは「Sound Field Control (サウンドフィールドコントロール)」の略です。SFCは、車室内にリアルな音場を再現することができます。StudioやCLUBなど、3つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

BBEについて

BBEは、音楽再生時に発生する高調波成分の遅延、振幅の狂いを位相補正と高域ブーストを組み合わせて修復することで、極めて原音に近い再生音にすることができます。このため、鮮明度が高く、ライブ演奏に近い自然な臨場感を再現することができます。

1 SFCモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(▶ DSP 調節 78 ページ)



手順2でBBEを選んだとき

3 BBEのレベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：レベルを大きくするとき

▼：レベルを小さくするとき



レベルは-4～+4の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

- この製品はBBEサウンド・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc.の登録商標です。

2 音場プログラムを選ぶ

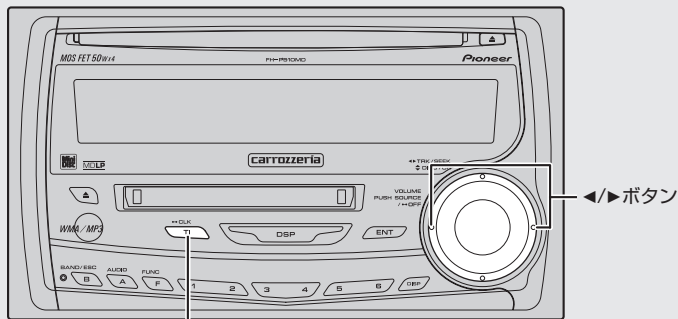
◀または▶ボタンを押す

◀または▶ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



音場プログラムを選ぶと表示されます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。



トラフィックインフォメーション
T.I.ボタン

便利な機能

1

瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1 瞬時に音量を小さくする

リモコンのATTボタンを押す

(はじめに① 9ページ)

ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのときに点滅します。

アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。

便利な機能

2

時計を表示させる

時計表示

本機の電源がONのとき、または電源がOFFでデモモード(はじめに⑩ 13ページ)を解除しているときに、時計を表示させることができます。

1 時計を選ぶ

T.I.ボタンを2秒以上押す

ボタンを2秒以上押すごとにON/OFFします。



メモ

- 本体の電源がONの場合は、時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒後にもとの表示に戻ります
- 時計を合わせるには (便利な機能⑥ 87ページ)

交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1 620 kHzまたは1 629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 交通情報を受信する

TIボタンを押す



交通情報を受信します。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 1 629 kHzにするととき
- ◀ : 1 620 kHzにするととき



受信周波数

3 交通情報の受信をやめる

TIボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

- この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。
- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。
- 交通情報を受信すると、SFC (E DSP調節 83ページ) がOFFになり、イコライザーカーブは交通情報用になります。そのあいだ、イコライザーカーブは表示されません。交通情報の受信をやめるとSFCおよびイコライザーカーブは、もとの状態に戻ります。

よく使う機能を直接操作する

ダイレクトファンクション

リモコンのDFボタンを押すと、よく使う機能をソースごとに直接操作することができます。内蔵CD・WMA/MP3/WAV・内蔵MD・マルチCDでポーズ、ラジオでBSM、テレビでBSSMを操作することができます。

内蔵CD・WMA/MP3/WAV・内蔵MD・マルチCDのとき

1 再生を一時停止する

リモコンのDFボタンを押す

(E はじめに 9ページ)

ボタンを押すごとに機能がON/OFFします。

(E 内蔵CD 31ページ、E WMA/MP3/WAV 37ページ、E 内蔵MD 45ページ、マルチCD 65ページ)

ラジオのとき

1 BSMを始める

リモコンのDFボタンを2秒以上押す

(E はじめに 9ページ)

BSMが始まります。

(E ラジオ 4 51ページ)

メモ

- BSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSMを途中解除することもできます。

テレビのとき

1 BSSMを始める

リモコンのDFボタンを2秒以上押す

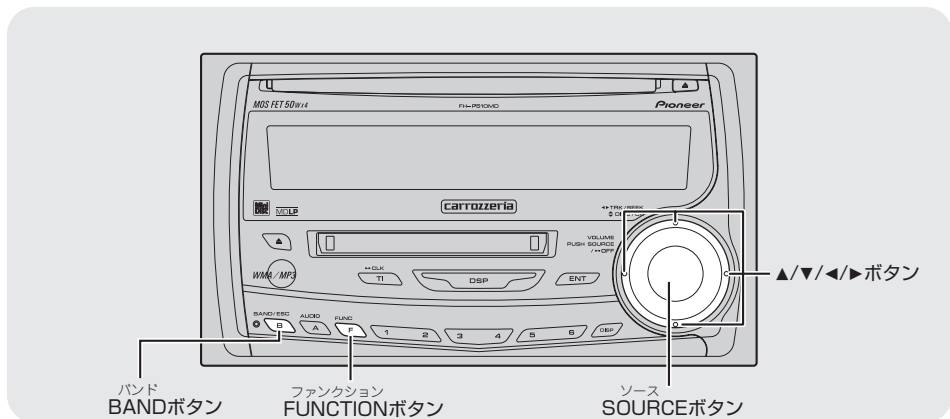
(E はじめに 9ページ)

BSSMが始まります。

(E テレビの取扱説明書)

メモ

- BSSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSSMを途中解除することもできます。



便利な機能

5

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源を OFF にする

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す
(☞ ここだけで 16 ページ)

2 初期設定モードにする

電源が OFF のときに FUNCTION ボタン
を 2 秒以上押す

3 初期設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

時計調節モード
(☞ 便利な機能 6)

↓
AUX (外部機器) モード
(☞ 便利な機能 7 88 ページ)

↓
ディマーモード
(☞ 便利な機能 9 89 ページ)



コントラスト調節モード
(☞ 便利な機能 10 90 ページ)

↓
RCA 外部出力モード
(☞ 便利な機能 11 91 ページ)

↓
デジタルアッテネーターモード
(☞ 便利な機能 12 91 ページ)

↓
ミュート/アッテネートモード
(☞ 便利な機能 13 92 ページ)

↓
エバースクロール設定モード
(☞ 便利な機能 14 93 ページ)

↓
時計調節モードに戻る

メモ

- 初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(解除すると、電源が OFF になります。)

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

1 時計調節モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(便利な機能⑥)



2 時計の設定をする

■ 時、分を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



操作することにより、時、分が切り換わります。

■ 時刻を合わせる

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 時刻を進めるとき

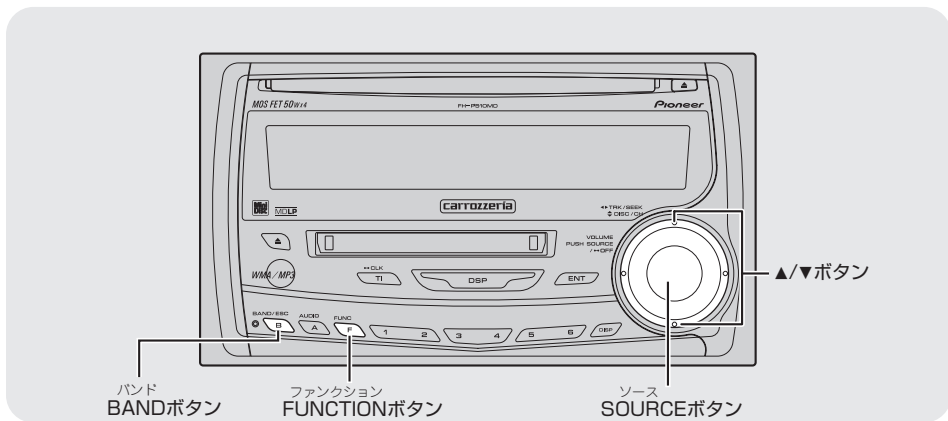
▼ : 時刻を戻すとき



時または分を調節すると、0秒からカウントが始まります。



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。



便利な機能 7 外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機にポータブル機器やVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

外部機器の接続には、次の2通りがあります。

- ① 別売のRCA/IP-BUSインターコネクターを使用する場合
接続する外部機器にRCA出力がある場合、別売のRCA/IP-BUSインターコネクターを使用して、本機のIP-BUS入力端子に接続します。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。
- ② IP-BUSを使用する場合（パイオニア製ナビゲーションユニットなどを接続する場合）
別売のIP-BUSケーブル（「CD-IP600」など）を使用して、本機のIP-BUS入力に接続します。

1 AUX (外部機器) モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (E38 便利な機能⑤ 86ページ)



2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをAUXにする

SOURCE ボタンを押す

(E38 ここだけで① 16ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

外部機器の名称を入力する

AUX (外部機器) の名称設定

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1 ソースをAUXにする

SOURCE ボタンを押す

(☞ ここだけで① 16ページ)



2 外部機器の名称入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

3 外部機器の名称を入力し、記憶させる

CDタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。(☞ マルチCD⑩ 63ページ)

例) “DAT” と入力した場合



“AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマー

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなるように設定できます。

1 ディマーモードにする

電源がOFFのときにFUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能⑤ 86ページ)

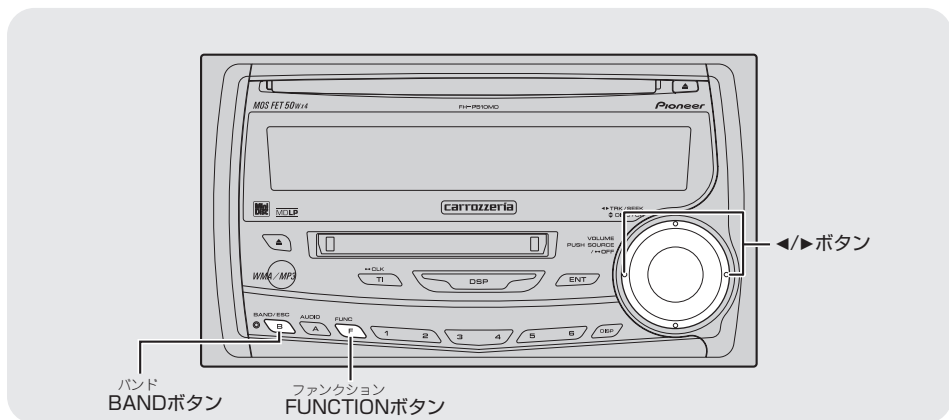


2 ディマーの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。



便利な機能 10 ディスプレイの明暗を切り換える

コントラスト

ディスプレイの明暗を、お好みに合わせて切り換えることができます。

1 コントラスト調節モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(E 便利な機能 86 ページ)



2 設定を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶：明暗の差を小さくするとき

◀：明暗の差をはっきりさせるとき



1～14の範囲で調節できます。



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

RCA 外部出力から出力される信号を選ぶ

本機のRCA外部出力に外部アンプを接続してサブウーファーを使用する場合、本機からの出力のしかたを選べます。

1 RCA 外部出力モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(便利な機能⑤ 86ページ)



2 出力方法を設定する

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 原音のまま出力して、外部アンプでサブウーファーを調節するとき (Full: フル出力)
- ◀ : 本機でサブウーファーを調節するとき (Subw: サブウーファー出力)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

- 出力方法を“Full”に設定したときは、ノンフェーディングの設定 (音の調節⑥ 76ページ) をしてください。
- 出力方法を“Subw”に設定したときは、サブウーファーの設定 (音の調節④ 72ページ) をしてください。

音の歪みを補正する

デジタルアッテネーター

イコライザーカーブの設定 (DSP調節④ 80ページ) による音の歪みをなくすことができます。

デジタルアッテネーターについて

イコライザーカーブの設定でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定をLOWに切り換えてください。

1 デジタルアッテネーターモードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(便利な機能⑤ 86ページ)



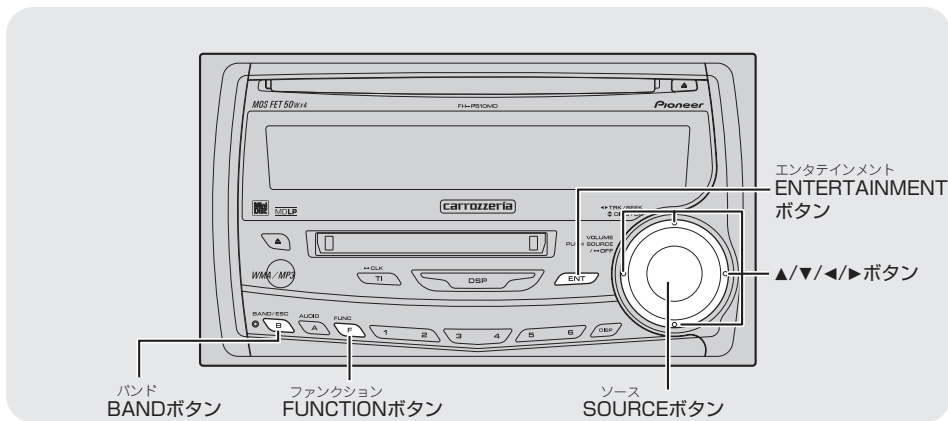
2 設定を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : HI を選ぶとき
- ◀ : LOW を選ぶとき



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。



便利な機能
13

ミュート/アッテネートを切り換える

ミュート/アッテネート設定

ミュート機能のある製品からミュート信号を受け取ったときに、本機の音声をミュートするかアッテネートするかを選ぶことができます。

ミュート/アッテネート機能について

ミュート機能のある製品（パイオニア製ナビゲーションシステムなど）と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュートまたはアッテネート機能が働きます。ミュート信号を受け取っているときの各設定の音量は、次のようになります。

- Mute：音量“0”
- 10dB ATT：もとの音量の約1/3
- 20dB ATT：もとの音量の約1/10

ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的にもとの音量に戻ります。

2 設定を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



Mute、10dB ATT、20dB ATTの中から選ぶことができます。



BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

1 ミュート/アッテネートモードにする

電源がOFFのときにFUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能⑥ 86 ページ)



CDタイトルなどのスクロールのしかたを切り換える

エバースクロール設定

エバースクロール機能をONにすると、CDのタイトルなどを繰り返しスクロールさせることができます。一度だけスクロールさせたいときは、この機能をOFFにしてください。(初期設定ではOFFになっています。)

1 エバースクロール設定モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能⑤ 86ページ)



2 エバースクロールの設定をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

エンタテインメント表示を切り換える

エンタテインメント表示

各ソースを聞いているときに、エンタテインメントディスプレイの表示を切り換えることで、いろいろな表示を楽しむことができます。

1 聞きたいソースを選ぶ

SOURCEボタンを押す

(☞ ここだけで① 16ページ)

スピーカーから音が出力されている状態にします。

2 エンタテインメント表示を切り換える

ENTERTAINMENTボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

レベルインジケータ1 (通常表示)



レベルインジケータ2



レベルインジケータ3



レベルインジケータ4



レベルインジケータ5



スペクトラムアナライザー1



スペクトラムアナライザー2



エンタテインメント表示1



エンタテインメント表示2



OFF



レベルインジケータ1に戻る

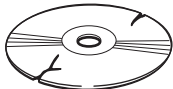
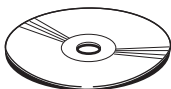
CDの正しい使いかた

使用できるCDについて

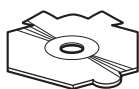
- 下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。



- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。）

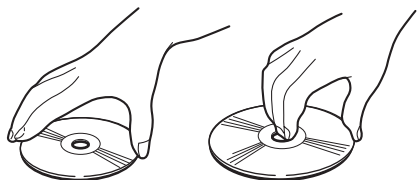
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）
- 本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。（音楽データ（CD-DA）再生時）
- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクには対応していません。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

取り扱い上のご注意

- CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

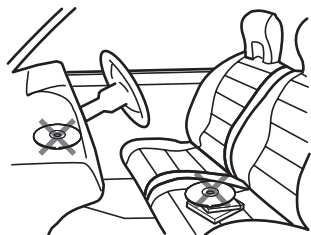


- CDにキズを付けないでください。
- CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

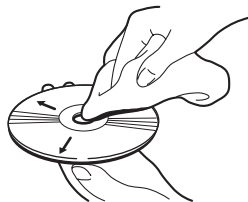
- 直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



- CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

- CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



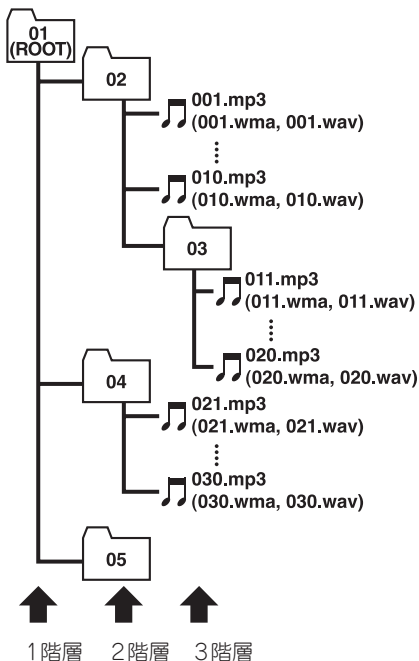
CD再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

WMA/MP3/WAV ファイルについて

フォルダーとWMA/MP3/WAVファイルについて

- WMA、MP3およびWAVファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。



- 本機はWMA、MP3およびWAVファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(※ その他⑦ 106ページ)
- 本機はマルチセッション (※ その他⑦ 106ページ) 方式で記録したディスクの再生に対応しています。

- パケットライト (※ その他⑦ 106ページ) には対応していません。
- m3u (※ その他⑦ 107ページ) のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3、.wma、.wav) を含めて半角64文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は半角64文字です。ファイル名やフォルダー名を全角で入力した場合は、32文字まで表示できます。
- 拡張フォーマット (Romeo) (※ その他⑦ 106ページ) に準拠して記録されたファイルの場合、先頭から64文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。
- 曲間にブランクがないCDを、MP3/WMA/WAVファイルとしてCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。

メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当ててはできません。
- CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにWMA/MP3/WAVファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA/MP3/WAVファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます (※ ここだけで④ 21ページ)。WMA/MP3/WAVファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- WMA、MP3およびWAVファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号の表示をせず、スキップします。)
- 8階層までのWMA、MP3およびWAVファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が99個まで再生可能です。

WMA とは？

- 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。(※ その他 ⑦ 107ページ)

ご注意

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードした Windows Media Player のバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含む WMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

再生できる WMA ファイルについて

ご注意

- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
 - 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けないでください。
 - 本機では、Windows Media Player Ver.7/7.1/8/9 を使用してエンコードした WMA ファイルを再生することができます。
-
- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 32/44.1/48 kHz です。
 - 一般的に WMA ファイルは、ビットレート (※ その他 ⑦ 106ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、CBR (固定ビットレート) 時は、48kbps～320kbps、VBR (可変ビットレート) 時は、48kbps～384kbps の WMA ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。
 - デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたファイルを再生したときは、“SKIPPED” と表示され、そのファイルの再生がスキップされます。
 - ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されている場合は、“PROTECT” と表示され、そのディスクの再生はできません。
 - この製品は、次の形式には対応していません。
 - * Windows Media Audio 9 Professional (5.1 ch)
 - * Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - * Windows Media Audio 9 Voice

MP3とは？

- 「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
(☞ その他⑦ 107ページ)

再生できるMP3ファイルについて

ご注意

- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。

- ID3 Tag (☞ その他⑦ 106ページ)のVer1.0、1.1、2.2、2.3および2.4のアルバム名(ALBUMとして表示)、曲名(TRK TTLとして表示)、アーティスト名(TRK ARTとして表示)の表示に対応しています。なお、ID3 TagのVer1.XとVer 2.Xが混在している場合は、Ver 2.Xが優先されます。
- 32/44.1/48 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しています。(なお、再生可能なサンプリング周波数は16/22.05/24/32/44.1/48 kHzです。)
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレート(☞ その他⑦ 106ページ)が高いほど音質は良くなります。本機は、8kbps～320kbpsのMP3ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbps以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

WAVとは？

- 「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。
(☞ その他⑦ 107ページ)

再生できるWAVファイルについて

ご注意

- WAVファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wav)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wav)が付いているファイルをWAVファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAVファイル以外には拡張子(.wav)を付けないでください。

- 本機は、LPCM形式およびMS ADPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- 本機は、LPCM形式では16/22.05/27/32/44.1/48 kHz、MS ADPCM形式では22.05/44.1 kHzのサンプリング周波数で記録されたファイルの再生に対応しています。
- サンプリング周波数の、すべての桁は表示されることがあります。
- 一般的にWAVファイルは、量子化ビット数(☞ その他⑦ 106ページ)が高いほど音質は良くなります。本機は、LPCM時は8/16 bit、MS ADPCM時は4 bitの量子化ビット数での再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんで頂くためには、できるだけ高い量子化ビット数で記録されたディスクの使用を推奨します。

使用できるMDについて

- 下記マークの付いているMD（ミニディスク）をご使用ください。



- 音楽用以外のMDは使用しないでください。故障の原因になります。

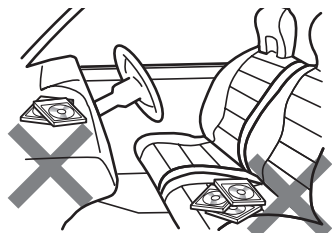
取り扱い上のご注意

- MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。



保管上のご注意

- MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



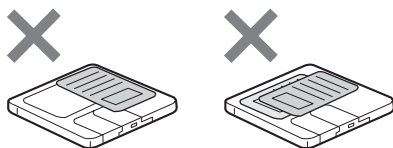
寒いときの結露について

- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。

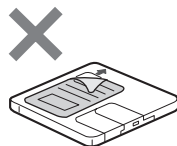
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

ラベルについて

- MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。



- ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



お手入れについて

- MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。
- MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



- MD用クリーニングディスクを使用するときは、クリーニングディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。クリーニングディスクによっては製品の故障の原因になる場合があります。

故障かな?と思ったら

故障かな?と

と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

チェックしても

直らないときは

本機をリセットしてください。(☞ はじめに④ 14 ページ)

それでも

直らないときは

「保証書とアフターサービス」(☞ その他⑥ 104 ページ)をお読みにになり、修理を依頼してください。

■ 共通項目

症 状	原 因	処 置
本機の電源をOFFにしても、表示が消えない。	デモモードがONになっている。	デモモードをOFFにしてください。 (☞ はじめに③ 13ページ)
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のものと交換してください。(☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで②③④⑤⑥ 19、21、23、25、27ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ 便利な機能① 84ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 70ページ)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 70ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 70ページ)

■ CD、WMA/MP3/WAV

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他① 95ページ)
	CDに曇りや水滴が付いている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他① 95ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。 (☞ ここだけで②③ 18、20ページ)

■ MD

症 状	原 因	処 置
MD再生中、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDに曇りや水滴が付いている。	
	MDが正しい方向に挿入されていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入してください。(☞ ここだけで④ 22ページ)


■ ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで⑤ 25ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで⑤ 25ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が悪くなるなど、雑音も少なくなります。	受信状態が悪くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで⑤ 25ページ)

こんなメッセージが表示されたら

CD、WMA/MP3/WAVのエラー表示

CD、MP3を正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 ( その他① 95ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-12」 「ERROR-15」 「ERROR-17」	CD-R/CD-RWを録音しないまま使用しているとき。	CD-R/CD-RWは、録音してからお使いください。
「ERROR-22」 「ERROR-23」	再生できないフォーマットのCD-ROMを挿入したとき。	CDを交換してください。
「ERROR-10」 「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-15」 「ERROR-17」 「ERROR-30」 「ERROR-50」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「NO AUDIO」	何も録音されていないCD-ROMを挿入したとき。	WMA/MP3/WAVファイルの記録されているCD-ROMと交換してください。
「SKIPPED」	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたWMAファイルを再生したとき。	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。
「PROTECT」	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されているとき。	ディスクを交換してください。

メモ

- マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

MDのエラー表示

MDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「TEMP」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」	MDが汚れているとき。 MDにキズやひびがあるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR-20」 「ERROR-21」	振動などが原因で曲の情報を 読み取れなかったとき。 MDに異常（損傷している、 TOCが入っていないなど）が あるとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直し てください。それでも同じメッセー ジが表示される場合は、他のMDと 交換してください。
「ERROR-22」 「ERROR-24」	MDに異常（損傷している、 TOCが入っていないなど）が あるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR-23」	音楽以外の情報が記録された MDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してくだ さい。
「ERROR-01」 「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」 「ERROR-A0」	本機の電気系、機構系の故障 が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFに してからONにするか、MD再生を一 度やめて、もう一度MD再生にして ください。
「ERROR-A1」	本機の電気系、機構系の故障 が考えられるとき。	MD再生を一度やめて、リセットボタ ンを押して (☞ はじめに④ 14ページ) もう一度MD再生にしてください。
「ERROR」	MDがなんらかの原因で再生 しないとき。	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。 (☞ はじめに④ 14ページ)
「Blank MD」	何も録音されていないMDを 挿入したとき。	他のMDと交換してください。

TOCについて

- TOC (Table Of Contents) とは、CD・MD・DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

バケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3とWMAのように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめた単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リニアPCM (LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式で、「Linear Pulse Code Modulation」の略です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されています。

量子化ビット数

量子化ビット数は、音質を定義する要素の1つで、量子化ビット数が大きいほど、音質は良くなります。しかし、量子化ビット数が大きくなるほどデータサイズが大きくなるため、より多くの記憶容量が必要となります。

ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報には、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1:

ファイル名は、8.3形式(名前は半角英文大文字と半角数字、“_”で8文字以下、拡張子は3文字)

レベル2:

ファイル名は、最大31文字(区切り文字、“.”と拡張子を含む)で、各フォルダーの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet:

ファイル名は、最大で64文字

Romeo:

ファイル名は、最大で128文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子(.m3u)で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO(国際標準化機構)のワーキンググループ(MPEG)の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データをもとのデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

MS ADPCM

「Microsoft adaptive differential pulse code modulation」の略で、米国Microsoft Corporationのマルチメディア・ソフトウェアで使用される信号記録方式です。

VBR (ブイビーアール)

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変にすることで、音質を優先した圧縮が可能となります。

WAV

「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

WMA (ダブルユーエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

■ アンプ・オーディオ部

最大出力 : 50 W × 4
 定格出力 : 22 W × 4
 (50~15 000 Hz、5% THD)

9バンド

イコライザー

周波数: 50 Hz、100 Hz、200 Hz、
 400 Hz、800 Hz、1.6 kHz
 3.15 kHz、6.3 kHz、12.5 kHz

9バンド

イコライザー

調整幅: ±12 dB

ネットワーク

ハイパス

フィルター: 周波数: 50/63/80/100/125 Hz
 スロープ: -6 dB/oct.、
 -12 dB/oct.

サブウーファー

出力: 周波数: 50/63/80/100/125 Hz
 スロープ: -12 dB/oct.、
 -18 dB/oct.
 調整幅: -24 dB~+6 dB
 位相: NOR (正相)/REV (逆相)

ラウドネス

コンター: 10 dB (100 Hz)、
 6.5 dB (10 kHz)
 (ボリューム: -30 dB)

負荷

インピーダンス: 4 Ω (4~8 Ω 使用可能)

プリアウト

最大出力レベル: 1.8 V

出力インピー

ダンス: 1 k Ω

■ CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
 オーディオシステム

使用ディスク : コンパクトディスク
 信号

フォーマット: サンプリング周波数: 44.1 kHz
 量子化ビット数: 16ビット直線

周波数特性 : 5~20 000 Hz (±1 dB)

S/N : 94 dB (1 kHz)
 (IHF-A ネットワーク)

ダイナミック

レンジ: 92 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

MP3

デコーディング

フォーマット: MPEG-1 & 2 Audio Layer-3

WMA

デコーディング

フォーマット: Ver 7、7.1、8、9、10

WAV

シグナル

フォーマット: Linear-PCM、MS ADPCM

■ MD プレーヤー部

形式 : ミニディスクデジタル
 オーディオシステム

使用ディスク : ミニディスク

信号

フォーマット: サンプリング周波数: 44.1 kHz
 量子化ビット数: 16ビット直線

周波数特性 : 20~20 000 Hz (±1 dB)

S/N : 90 dB (1 kHz)
 (IHF-A ネットワーク)

ダイナミック

レンジ: 90 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

■ FMチューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度 : 8 dBf (0.7 μ V/75 Ω 、
モノラル、S/N : 30 dB)
S/N 50 dB
感度 : 10 dBf
(0.9 μ V/75 Ω 、モノラル)
S/N : 75 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)
0.1 %
(65 dBf入力、1 kHz、モノラル)
周波数特性 : 30 ~ 15 000 Hz (\pm 3 dB)
ステレオ
セパレーション : 45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1 629 kHz (9 kHz)
実用感度 : 18 μ V (S/N : 20 dB)
S/N : 65 dB (IHF-A ネットワーク)

■ 共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 10 A
外形寸法
(取付寸法) : 178(W) \times 100(H) \times
161(D) mm
(ノーズ寸法) : 170(W) \times 94(H) \times 23(D) mm
質量 : 1.7 kg (コードユニット含まず)

■ 付属品

コードユニット : 1
取付ネジ類 : 1 式
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
接続・取り付け
時のご注意 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
 なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 ☎ **0070-800-8181-11** 【一般電話】 **03-5496-8016**

ファックス **03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://www.pioneer.co.jp/support/index.html>

*商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ **0120-5-81095** 【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス ☎ **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9：30～19：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ **0120-5-81028** 【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス ☎ **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://www.pioneer.co.jp/support/repair.html>

*修理受付および進捗状況確認など（インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります）

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【一般電話】 **098-879-1910**

ファックス **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2005

< KNNZX > < 05J00001 > < YRA5031-A/U >